

図面リスト(増築工事)

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
M-101	機械設備工事特記仕様書(一般共通事項)	NS	M-131	増築棟 計装設備 屋根伏図	1/100
M-102	特記仕様書(工種別事項)	NS	M-132	改修前 衛生設備 柵リスト	NS
M-103	工事区分表	NS	M-133	改修前 衛生設備 屋外配管図	1/200
M-104	附近見取図、配置図	1/600	M-134	改修前 衛生設備 受水槽廻り詳細図	1/50
M-105	増築棟 衛生設備 機器表	NS	M-135	改修前 衛生設備 浄化槽(1)	1/50
M-106	増築棟 衛生設備 器具表	NS	M-136	改修前 衛生設備 浄化槽(2)	1/50
M-107	増築棟 衛生設備 系統図	NS	M-137	改修前 衛生設備 浄化槽(3)	1/50
M-108	改修後 衛生設備 柵リスト	NS	M-138	改修後 受水槽参考図	1/50
M-109	改修後 衛生設備 屋外配管図	1/200	M-139	改修後 浄化槽参考図(1)	1/70
M-110	増築棟 衛生設備 1階平面	1/100	M-140	改修後 浄化槽参考図(2)	1/70
M-111	増築棟 衛生設備 2階平面	1/100	M-141	改修後 浄化槽参考図(3)	1/20
M-112	増築棟 衛生設備 3階平面	1/100	M-142	改修後 浄化槽参考図(4)	1/10
M-113	増築棟 衛生設備 屋根伏図	1/100	M-143	区画貫通処理要領図	NS
M-114	増築棟 衛生設備 詳細図	1/50			
M-115	改修後 衛生設備 受水槽廻り詳細図	1/50			
M-116	増築棟 空調設備 機器表	NS			
M-117	増築棟 空調設備 系統図	NS			
M-118	増築棟 空調設備 1階平面図	1/100			
M-119	増築棟 空調設備 2階平面図	1/100			
M-120	増築棟 空調設備 3階平面図	1/100			
M-121	増築棟 空調設備 屋根伏図	1/100			
M-122	増築棟 換気設備 機器表	NS			
M-123	増築棟 換気設備 計算書	NS			
M-124	増築棟 換気設備 系統図	NS			
M-125	増築棟 換気設備 1階平面図	1/100			
M-126	増築棟 換気設備 2階平面図	1/100			
M-127	増築棟 換気設備 3階平面図	1/100			
M-128	増築棟 計装設備 1階平面図	1/100			
M-129	増築棟 計装設備 2階平面図	1/100			
M-130	増築棟 計装設備 3階平面図	1/100			

I. 工事概要等					
1. 工事場所 東広島市西条町郷曹					
2. 建物概要					
建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
特別教室棟	鉄筋コンクリート造	地上3階	2,466.27	7項	増築
3. 工事種目 (○印の付いたものを適用する)					
建物外及び屋外	工 事 種 別				屋 外
工 事 種 目	特別室棟 (増設)				
○ 空気調和設備	新設一式				
○ 換気設備	新設一式				
・ 排煙設備					
・ 自動制御設備					
○ 衛生器具設備	新設一式				
○ 給水設備	新設一式				改設一式
○ 排水設備	新設一式				改設一式
○ 給湯設備	新設一式				
○ 消火設備	新設一式				
・ ガス設備	新設一式				
・ 厨房設備					
○ 浄化槽設備	新設一式				改設一式
・ 雨水利用設備					
・ 特殊ガス設備					
・ 電気設備工事	電気設備工事の部による				
・ 建築工事	建築工事の部による				
4. 指定部分 ※無し ・ 有り (工期 令和 年 月 日) 対象部分:					
5. 設備概要 (改修の場合は既存の概要を示す。)					
空調調和方式等	○ 空調調和 (○ パッケージ方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ方式 ・ ファンコイルユニット ・ ダクト併用方式 ・ 単一ダクト方式 ・ 各階ユニット方式)				
主要熱源	・ 空気熱源ヒートポンプユニット ○ マルチパッケージ形空調調和機 ・ パッケージ形空調調和機 ・ ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機 ・ チリングユニット ・ 吸収冷水機 ・ 吸収冷水機ユニット ・ 鋼製ボイラー ・ 鋳鉄製ボイラー ・ 温水発生機 (・ 真空式 ・ 無圧式)				
換気設備	○ 1種換気 ○ 2種換気 ○ 3種換気				
排煙設備	・ 機械排煙 (・ 有 (・ 無)) 適用法規 (・ 建築法 ・ 消防法)				
自動制御設備	・ 自動制御方式 (・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式)				
給水方式	・ 水道直結 ・ 高置タンク ○ ポンプ直送 ・ 水道直結増圧				
排水方式	建物内の汚水と雑排水 (・ 合流 ・ 分流) ポンプ排水 ・ 有 (・ 汚水 ・ 雑排水 ・ 湧水) ○ 無				
放汚水	・ 直放流下水管 ○ 浄化槽				
雑排水	・ 直放流下水管 ○ 浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途集				
先排水槽	・ 有 (計画容量: ㎡) ○ 無				
給湯設備	○ 有 (○ 局所式 ・ 中央式) ・ 無 熱源 (○ 電気 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油)				
消火設備	○ 屋内消火栓 ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 消防用水 ・ 泡消火 ・ 連結散水装置 ・ 粉末消火装置 ・ 不活性ガス消火 (・ 窒素) ・ ハロゲン化物消火 ・ フード専用簡易自動消火装置 ・ 無				
ガス設備	・ 都市ガス 種別 (MJ/㎡3N) ○ 液化石油ガス				
浄化槽設備	○ 有 (○ 合併処理 ・ 小規模合併処理) ・ 無				
II. 工事仕様					
1. 共通仕様					
1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部の標準仕様書等による。ただし、○印の付いたものを適用する。					
○ 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和7年版 (以下「標準仕様書」という。)					
・ 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) 令和7年版 (以下「改修標準仕様書」という。)					
○ 公共建築設備工事及建築工事を含む場合、電気設備工事及建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。					
2) 特記仕様					
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。					
2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は ※ 印を適用する。○印 ⊗ 印の場合は共に適用する。					
区分	項目	特記事項			
一般共通事項	① 施工図等	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。			
	2. 保安規定	中国地方整備局制定の営繕工事事業用工作物電気保安規程を (・ 適用 ・ 準用) する。			
	② 施工条件	特約事項による。			
	④ 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を、監督職員に提出する。			
	⑤ 発生材の処理等	引渡しを要するもの ・ 有 (・ 機器類 ・ 金属類 ・) ※ 無 特別管理産業廃棄物 ・ 有 (・ 配管用保温材 ・) 再生資源化を図るもの ※ 無 ・ 有 (・) アスベスト含有設備資材 (ガスケット、パッキン、たわみ継手等) は関係法令に従い適切に処理を行う。引渡しを要するものは構外搬出適切処理とする。			
事項	※51. 建設廃棄物の処理も確認すること	撤去機材等 (アスベスト類を含む) の搬出・処分費 ※ 本工事 ・ 別途工事 フロン、臭化リチウム液、残油処理の搬出・処分費 ※ 本工事 ・ 別途工事			

⑥ 環境への配慮	
一般共通事項	1) 国等による環境物品等の調達に関する法律 (グリーン購入法) に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。
	2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放出量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性 (フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く) が追加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生量が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⑦ 機材の品質等
	1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 別表-1に示す機材等を使用する場合は次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。ただし①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
	⑧ 機材の承諾図
	⑨ 図形表示
	⑩ 容量等の表示
	11. 技能士の適用
	12. 化学物質の濃度測定
	⑬ インバーター用制御及び操作盤
	⑭ 総合試運転調整
	⑮ 弁類
	⑯ 伸縮管継手
	⑰ 防振継手
	⑱ 絶縁継手
	⑲ スリーブ
	20. 瞬間流量計
	⑳ 配管の建物導入部
	㉑ ステンレス鋼管の接合方法
	㉒ ピニル管の接合方法
	24. ポリエチレン管の接合方法
	25. 溶接配管の検査
	㉔ 異種管の接続
	㉕ 支持金物・固定金具
	㉖ 埋設表示
	㉗ 保温
	溶融亜鉛めっきは ※ 2種35 ・ 2種50 標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。 1) 屋内露出 (一般居室、廊下) の外装は ※ A1 ・ A2 2) 冷媒管の保温外装は 屋内露出 ・ 合成樹脂カバー (A1・(イ)・ロ)・V1) ○ 保温化粧ケース (耐候性樹脂製) 屋外露出 ○ ステンレス鋼板 (E2・(イ)・ロ)・V1) ○ 保温化粧ケース ・ 耐候性樹脂 ○ ステンレス鋼板 ・ 高耐食鋼板 (溶融亜鉛めっき) 3) 標準仕様書以外で多湿箇所の適用 (※ 無) とする。 4) 全熱交換器の機器外側ダクト (※ 給気側 ○ 排気側外壁より 1m) は、保温 (25mm厚) する。 5) 厨房用排気ダクトの断熱 (図べい部) ・ I・(イ)・IX 又は h・(イ)・IX ・ 行わない。 6) 共同溝の保温種別は (配管 : ・ ダクト : ・) とする。

30. 塗装	
一般共通事項	下記の部分を除き、原則として塗装 (標準仕様書第2編3. 2による) を行う。 亜鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分、金属電線管、鋼製架台及び支持金物類、主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管、カラー亜鉛鉄板面、亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面、樹脂コーティング等をしたもので、常時隠べいされる部分アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面、埋設されるもの。 (ただし、防食塗装部分を除く) 塗装を施さない部分・箇所 ※ 倉庫 ・ 車庫 ・ 駐車場 ただし、残りホジ部及びパイプレンチのチェック跡部の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。 「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の (2) 手すり据置き方式又は (3) 手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場 (※ A、B、C、D種 ・ E種 ・ F種 ・ G種) ・ 外部足場 (※ D、E種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ F種) 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は全て受注者の負担とする。 本工事で設置する。(規模及び仕上げの程度は現場説明書による) 構内に行ることが ※ できる ・ できない 1) 埋戻し土は ※ 根切り土の中の良質土 (コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・ 山砂の類 2) 建設発生土は ※ 構内敷きならし ・ 構内の指示ある場所に堆積 ○ 構外に搬出し適切に処理 (契約図書) コンクリートの設計基準強度は ※ 18N/mm2以上 ・ 図示による。
	31. 足場
	⑳ 工事用電力、水、その他
	㉑ 監督職員事務所
	㉒ 工事用仮設物
	㉓ 土工事
	㉔ コンクリート工事
	㉕ あと施工アンカー
	㉖ 耐震施工
	施工後確認試験 試験方法 引張試験機による引張り試験 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 (・ 配電盤 ・ 非常用発電機 ・ 直流電源装置 ・ 変圧器 ・) 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。 1) 設計用水平地震力は、機器の質量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、 地球係数 (・ 1.0 ※ 0.9 ・ 0.8) と、 次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 ○ 特定の施設 ・ 一般の施設 設置場所機器種別重要機器一般機器重要機器一般機器 上層階機 器 2.0 1.5 1.5 1.0 防振設置機器 2.0 2.0 2.0 1.5 屋上及び塔屋水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0 機 器 1.5 1.0 1.0 0.6 中間階防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 機 器 1.0 0.6 0.6 0.4 地階・1階防振設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6 水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6 上層階とは地階を除く2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3、13階建以上の場合は上層4階とする。 中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 水槽類にはオイルタンクを含む。 重要機器は次のものを示す。 ○ 給水機器 (水 槽 類) (調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等) ・ 排水機器 () ・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災機器 ・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備 ・ 避難経路上に設置する機器 2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。 ○ 施工に先立ち、改修工事関連部分 (施工部位により既存性能を損なうおそれのある部分) の事前調査を行う。(報告書の提出は不要) ・ 既存設備システムの事前調査を行い監督職員に報告書を提出する。調査を行う前に監督職員に調査計画書を提出する。 改修工事の対象となる既存設備システム ・ 排水放流先 ・ 中央監視室 ・ ステンレス鋼管を使用する場合は、使用用途により下記の項目を参考に水質の確認を行う。 電気導電率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、蒸発残留物 撤去する配管、ダクト (付属品含む) の保温材は、配管・ダクト等より分離する。 はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い、監督職員に報告する。原則、探査方法は走査型地層調査 (電磁誘導法または電磁波レーダ法) とする。 放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。放射線透過検査の検査費は別途とする。 図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。 電気設備工事、建築工事等との併施工の場合は工種区分とする。 (・) 書きの室名は天井無しを示し、その他は天井ありを示す。 ○ 建築工事と同様とする
	㉗ 撤去工事
	㉘ 非破壊検査
	㉙ 他工事との取合い
	44. 天井仕上げ区分
	㉚ 完成時の提出書類等

④ 電子納品																																													
一般共通事項	電子成果品を「營繕工事電子納品要領」(以下、要領という)に基づき作成する。 ※電子納品対象データは同要領に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。 (1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 (2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html (3) 監督職員及び発注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、発注者が行い、利用料を支払うものとする。 (4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならぬ。 受注者は受注時又は変更時において請負金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス (CORINS) に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し、登録機関発行の「登録内容確認書」を監督職員に提出しなければならない。 なお、途中変更時の登録が必要な場合は、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。																																												
	㉛ 工事実績情報の登録																																												
	㉜ 施工計画書																																												
	㉝ 履行報告																																												
	㉞ 建設廃棄物の処理																																												
	㉟ 優先順位																																												
	㊱ 官公署その他への手続き等																																												
	㊲ 別契約の関係工事との協議																																												
	㊳ 調査への対応																																												
	57. 交通誘導員																																												
	58. 説明板等																																												
	㊴ 工事中の補償																																												
	㊵ 工事後の補償																																												
	㊶ 完成引渡しまでの管理																																												
	62. 快速トイレモデル工事																																												
	快速トイレモデル工事 (※発注者指定型・受注者希望型) であり、「快速トイレモデル工事実施要領 (最新版)」に基づき実施するものとする。 快速トイレチェックシートの様式は、「広島県の調達情報」の「様式集>建設工事関係_その他の契約関係の様式」に掲載している。 また、完成検査までに提出するアンケートは、「広島県の調達情報」の「入札・契約制度」入札・契約制度関係欄」に掲載している。																																												
別表-1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>種 材 名</th> <th>品 目</th> <th>種 材 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>送風機</td> <td>遠心送風機 (多翼形送風機)</td> <td>射流送風機</td> <td>軸流送風機</td> </tr> <tr> <td>ボイラー</td> <td>鋼製ボイラー</td> <td>鋼製小容量ボイラー</td> <td>鋼製ボイラー</td> </tr> <tr> <td>温水発生機</td> <td>真空式温水発生機 (鋼製・鋳鉄製)</td> <td>無圧式温水発生機 (鋼製・鋳鉄製)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷凍機</td> <td>チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット</td> <td>吸収冷水機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷卻機</td> <td>冷凍機</td> <td>吸収冷水機ユニット</td> <td>連動冷凍機</td> </tr> <tr> <td>空調調和機</td> <td>ユニット形空調調和機</td> <td>ファンコイルユニット及びヒートポンプファンコイルユニット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消火設備</td> <td>消火栓</td> <td>放射線透過検査機</td> <td>マルチパッケージ形空調調和機</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>電気導電率</td> <td>電気導電率</td> <td>電気導電率</td> </tr> <tr> <td>空気清浄装置</td> <td>エアフィルター (円筒形・折込形)</td> <td>自動換気エアフィルター</td> <td>電気集じん器</td> </tr> <tr> <td>安全防護具</td> <td>安全防護具 (図表・写真)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	品目	種 材 名	品 目	種 材 名	送風機	遠心送風機 (多翼形送風機)	射流送風機	軸流送風機	ボイラー	鋼製ボイラー	鋼製小容量ボイラー	鋼製ボイラー	温水発生機	真空式温水発生機 (鋼製・鋳鉄製)	無圧式温水発生機 (鋼製・鋳鉄製)		冷凍機	チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット	吸収冷水機		冷卻機	冷凍機	吸収冷水機ユニット	連動冷凍機	空調調和機	ユニット形空調調和機	ファンコイルユニット及びヒートポンプファンコイルユニット		消火設備	消火栓	放射線透過検査機	マルチパッケージ形空調調和機	電気設備	電気導電率	電気導電率	電気導電率	空気清浄装置	エアフィルター (円筒形・折込形)	自動換気エアフィルター	電気集じん器	安全防護具	安全防護具 (図表・写真)		
品目	種 材 名	品 目	種 材 名																																										
送風機	遠心送風機 (多翼形送風機)	射流送風機	軸流送風機																																										
ボイラー	鋼製ボイラー	鋼製小容量ボイラー	鋼製ボイラー																																										
温水発生機	真空式温水発生機 (鋼製・鋳鉄製)	無圧式温水発生機 (鋼製・鋳鉄製)																																											
冷凍機	チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット	吸収冷水機																																											
冷卻機	冷凍機	吸収冷水機ユニット	連動冷凍機																																										
空調調和機	ユニット形空調調和機	ファンコイルユニット及びヒートポンプファンコイルユニット																																											
消火設備	消火栓	放射線透過検査機	マルチパッケージ形空調調和機																																										
電気設備	電気導電率	電気導電率	電気導電率																																										
空気清浄装置	エアフィルター (円筒形・折込形)	自動換気エアフィルター	電気集じん器																																										
安全防護具	安全防護具 (図表・写真)																																												

<p>空気調和・換気設備</p> <p>① 設計用温湿度条件</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>② 配管材料</p> <p>③ 弁類</p> <p>④ 空調機用トランプ</p> <p>⑤ 銅板製煙道</p> <p>⑥ ばい煙濃度計</p> <p>⑦ 冷却塔</p> <p>⑧ ユニット形 空気調和機</p> <p>⑨ ファンコイルユニット</p> <p>⑩ パッケージ形 空気調和機</p> <p>⑪ マルチパッケージ形 空気調和機</p> <p>⑫ 集中管理リモコン</p> <p>⑬ 空気清浄装置</p> <p>⑭ オイルポンプ</p> <p>⑮ 開放形膨張タンク</p> <p>⑯ 地下オイルタンク</p> <p>⑰ オイルサーピスタック</p> <p>⑱ ダクト</p> <p>⑲ チャンバー等</p> <p>⑳ 吹出口・吸込口のボックス</p> <p>㉑ グリス除去装置</p> <p>㉒ 風量測定口</p> <p>㉓ 温度計</p> <p>㉔ 圧力計</p> <p>㉕ ダンパー</p> <p>㉖ 定風量・変風量 ユニット</p> <p>㉗ 冷温水管等のエア抜き</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="2">室内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th>温度(DB)</th> <th>湿度</th> <th>一般系統</th> <th>温度(DB)湿度</th> </tr> <tr> <td>夏季 34.9℃ 51.0%</td> <td>28.0℃ 50%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季 -0.2℃ 69.9%</td> <td>19.0℃ 40%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼管(白管)</p> <p>2) 膨脹・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼管(白管)</p> <p>3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼管(白管)</p> <p>4) 蒸気結露 ・ 配管用炭素鋼管(黒管)</p> <p>5) 蒸気遠水 ・ 圧力配管用炭素鋼管(S T P G 3 7 0 S c h 4 0)</p> <p>6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼管(黒管)</p> <p>7) 冷媒 ○ 断熱材被覆鋼管</p> <p>8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>9) 空調用排水 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管</p> <p>図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。</p> <p>① トランプの形式はフロードボールド式(床置き型) ※ FRP製保温型</p> <p>1) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm</p> <p>2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない</p> <p>3) ばいじん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない</p> <p>4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。</p> <p>5) 投光器及び受光器は、送風器付きとする。</p> <p>標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。</p> <p>6) コイル通過後のケーシングに錆じる表面結露対策は ※ 不要 ・ 図示による。</p> <p>7) 風量30.000m³/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。</p> <p>8) 冷温水管の接続部(往・還)にはポリ弁を取付ける。</p> <p>9) 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。</p> <p>(定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形)</p> <p>10) 床置き形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。</p> <p>11) インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>12) 内外配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む)</p> <p>13) パッケージ形空気調和機の記載による。</p> <p>14) 集中管理リモコンの機能は、</p> <p>※ 標準仕様書に記載されている機能</p> <p>・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能</p> <p>・ エネルギーの管理に関する機能(外部記憶媒体への出力機能含む)</p> <p>15) リモコンの系統区分は図示による。</p> <p>16) ろ材ユニットは(・ 再生式 ・ 非再生式)とし、形式及び性能等は図示による。</p> <p>17) 形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形</p> <p>18) 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>19) 鉄製はしご ※ 要 ・ 不要</p> <p>20) 1) 据付け方法は ※ 標準図(施工32)(二重殻タンク) ・ 標準図(施工33)(タンク室有り)</p> <p>2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト</p> <p>3) 2) 過油指示装置(液面計は(・ 抵抗変化式 ・ 磁変式)で(・ 屋内 ・ 屋外)より油量監視用)を取付ける。</p> <p>4) 基礎杭は ※ 不要</p> <p>5) ※ (但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事)</p> <p>6) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要(・ 本工事 ・ 別途工事)</p> <p>7) 油面計はゲージ式(側圧式)とする。</p> <p>8) 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト</p> <p>2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法(共板フランジ又はスライドオンフランジ)(ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法</p> <p>9) 3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。</p> <p>10) 4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。</p> <p>11) 1) シーリングディフューザーの接続は標準図(施工49)を参考とする。</p> <p>2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>3) 接続吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。</p> <p>※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製</p> <p>21) ・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター</p> <p>22) 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記箇所に取付ける。</p> <p>・ 空調機のサブライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト</p> <p>23) 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記箇所に取付ける。</p> <p>・ 空気調和機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト</p> <p>機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計</p> <p>・ ガード付きし形温度計</p> <p>24) 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。</p> <p>25) ① 防火ダンパーは表示等により区分する。</p> <p>② 防煙ダンパー 遮断復帰式(定格入力はDC24V、0.7A以下。)</p> <p>・ メカニカル形 ・ 風速センサー形</p> <p>26) 1) エア漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁を設置(※ 手動 ・ 自動)を設ける。</p> <p>2) 自動エア抜き弁装置は、標準図(施工38(g))による。</p> <p>3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。</p>	外気条件		室内 (調整目標値)		温度(DB)	湿度	一般系統	温度(DB)湿度	夏季 34.9℃ 51.0%	28.0℃ 50%			冬季 -0.2℃ 69.9%	19.0℃ 40%			<p>空気調和・換気設備</p> <p>28. 消音内貼り</p> <p>29. 機器用基礎</p> <p>30. 空調用流体の水質基準</p> <p>① フィルターの予備品</p> <p>排煙設備</p> <p>1. ダクト</p> <p>2. 排煙口</p> <p>3. 排煙口開放及び復帰方式</p> <p>4. 排煙風量測定</p> <p>自働制御設備</p> <p>1. システム構成・機能</p> <p>2. 自動制御機器</p> <p>3. 自動制御盤</p> <p>4. 中央監視制御装置</p> <p>5. 計装工事の配線</p> <p>衛生器具</p> <p>① 一般事項</p> <p>② 小便器用節水装置</p> <p>③ 自動水栓</p> <p>④ 大便器用洗浄弁</p> <p>⑤ 温水洗浄便座</p> <p>⑥ 器具と排水管接続</p> <p>7. 水栓</p> <p>給水設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>② 弁類</p> <p>③ 量水器</p> <p>④ 量水器樹</p> <p>⑤ 定水位調整弁</p> <p>⑥ 緊急遮断弁装置</p> <p>7. 水栓柱</p> <p>8. 不凍水栓柱</p> <p>⑨ 水栓</p> <p>⑩ タンク</p> <p>11. 引込納付金等</p> <p>⑪ ⑫ ガラスのコンクリート巻き</p> <p>排水設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>2. 排水金物</p>	<p>1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。</p> <p>2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。</p> <p>4) 防振基礎の防振材及び振動絶縁効果は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。</p> <p>5) 日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器用水質ガイドライン)による。</p> <p>6) 空気調和機器等又はフィルターの装着枚数の100%を予備品(特付)として納める。</p> <p>7) フィルターは総枚数の(・ 50% ・ 100%)に当たるものを予備品(特付)として納める。</p> <p>8) 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。</p> <p>※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製(厚1.6mm)</p> <p>・ パネル形(・ 天井取付 ・ 壁取付)</p> <p>・ スリット形(・ 天井取付 ・ 壁取付)</p> <p>・ ダンパー形(・ 天井内取付)</p> <p>電気式(遮断操作 ※ 不要 ・ 要)</p> <p>排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1による耐熱・耐火ケーブルとする。</p> <p>建築設備定期検査業務基準書2016年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。</p> <p>図示による。</p> <p>調節器等の取付け高さは ※ 1300mm</p> <p>・ 屋内用キャビネットは ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>・ 有り(構成機能は図示による) ・ 無し</p> <p>1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。天井隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項39.電線類の規格による。</p> <p>(機器、盤類はこれによらずともよい)</p> <p>用途: ①電線線、接地線</p> <p>②電気式の調節器(サーモ・ヒューミ等)用電線</p> <p>③各種検出器(温度・湿度等)、操作器(バルブ・ダンパー等)における弱電信号、通信線を除く制御線</p> <p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <p>大便器、小便器には、標記板(アクリル板に印刷)を取付ける。形式は(※ 小便器一体型 ・ 小便器分離型)とする。</p> <p>洗浄水量4リットル/回以下とする。</p> <p>※ 個別感知方式(※ AC電源 ・ 乾電池) ・ 手動式</p> <p>電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池</p> <p>肢体不自由者用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、</p> <p>※ 設ける ・ 設けない</p> <p>操作方式 ・ 電気開閉式(・ センサー式 ・ タッチスイッチ式)</p> <p>・ 手動式</p> <p>洗浄用加水方式は(・ 瞬間方式 ・ 貯湯方式)とし、付加機能は図示による。</p> <p>※ 標準図(施工65) ・ 標準図(施工66)</p> <p>・ 水栓は節水コマ付きを採用する。 ・ 水栓ハンドルは極力レバー式を採用する。</p> <p>① 一般配管用 ○ 水道用硬質塩化ビニル管(SGP-VB・FVB)</p> <p>・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管</p> <p>② 土間配管用 ○ 水道用硬質塩化ビニル管(SGP-VD・FVD)</p> <p>・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管</p> <p>③ 地中配管用 ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)</p> <p>・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)</p> <p>④ 水道配水管用 ○ 架橋ポリエチレン管 ・ 水道用架橋ポリエチレン二層管</p> <p>1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。</p> <p>2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。</p> <p>3) 給水引込部の(・ 止水栓 ・ 弁類)は水道事業者指定品とする。</p> <p>1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り(・ 直読 ・ 遮断表示)</p> <p>2) ゼメーター ※ 買取り ・ 借用(・ 直読 ・ 遮断表示)</p> <p>現地表示式(直読式)の表示機構は ※ 湿式ツクリ式 ・ 乾式ツクリ式</p> <p>遮断表示式は(※ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57)</p> <p>2) ゼメーター用 ※ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品</p> <p>・ 標準仕様書による ○ 水道事業者指定品</p> <p>・ 定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。</p> <p>遮断弁の駆動方式は(※ 電気式 ・ 機械式)とする。</p> <p>※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 ※ 約70mm内全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ○ キー式ハンドル</p> <p>2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。</p> <p>給水栓用配管の接続口を(※ 設ける ・ 設けない)ものとする。</p> <p>2) 構式の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁類 ※ ガラスのコンクリート巻き等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p> <p>1) 屋内汚水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</p> <p>(第1樹まで含む) ・ 建築用耐火硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)</p> <p>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>2) 屋内雑排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</p> <p>・ 建築用耐火硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)</p> <p>・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</p> <p>3) 通気管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</p> <p>・ 建築用耐火硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)</p> <p>4) 屋外排水管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VU)</p> <p>○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)(車道部)</p> <p>記号 COAD は掃除口を兼用する排水金物を示す。</p>	<p>排水設備</p> <p>3. 汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ</p> <p>4. 接続納付金等</p> <p>5. 樹のコンクリート巻き</p> <p>給湯設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>② 弁類</p> <p>③ 保温</p> <p>消火設備</p> <p>① 配管材料</p> <p>※重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>② 消火栓弁の耐圧</p> <p>③ 保温</p> <p>④ 屋内消火栓</p> <p>⑤ 屋外消火栓</p> <p>1) 水中形三相誘導電動機は、(※ 乾式 ・ 油封式)とする。</p> <p>電動機の種数は図示による。</p> <p>着脱装置、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。</p> <p>※ 別途工事 ・ 本工事</p> <p>2) 小口径樹等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p> <p>1) ・ 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ○ ステンレス鋼管</p> <p>・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管</p> <p>2) 湯沸器、給湯機器の付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。</p> <p>ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、10Kとする。</p> <p>湯沸器の給排水箇所の隠ぺい箇所は保温 h・(イ)・Ⅸ を行う。</p> <p>1) 屋内消火栓 一般配管用 ○ 配管用炭素鋼管(白管)</p> <p>地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管</p> <p>ビット内 (SGP-VS)</p> <p>2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼管(Sch40)</p> <p>地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(S T P G 3 7 0 - V S)</p> <p>3) 一般配管用 ・ ※ 10K ・ 16K</p> <p>1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>3) 消火配管の保温は次による。</p> <p>(屋外露出、寒冷地は保温種別 Ⅱ・Ⅲ・Ⅳによる)</p> <p>・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結送水管 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結散水管 ※ 施工しない ・ 施工する</p> <p>※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓</p> <p>○ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓</p> <p>開閉弁の材質は ※ 鋼鉄製(要部青鋼製) ・ ステンレス鋼製</p> <p>箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>1) 都市ガス設備</p> <p>2) 都市ガス ガス事業者の定めによる。</p> <p>3) 液化石油ガス 一般配管用 ○ 配管用炭素鋼管(白管)</p> <p>地中埋設用 ○ ポリエチレン被覆鋼管</p> <p>※ 不要</p> <p>※ 要(取付け位置は図示による。外部出力端子 ○ 不要 ・ 要)</p> <p>警告器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。</p> <p>・ 10kg ・ 20kg ○ 50kg 4本</p> <p>※ 借用 ・ 買取り</p> <p>・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____ kg</p> <p>・ 借用 ※ 買取り</p> <p>1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。</p> <p>2) 子メーター計量方式(・ 直読 ・ 遮断表示)</p> <p>施工方法は標準図(施工73)の(・ (a) ○ (b) ・ (c))</p> <p>施工方法は標準図(施工74)の(・ (a) ・ (b))</p> <p>① 処理種別及び方式</p> <p>・ 小規模合併処理(・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式)</p> <p>○ 合併処理(・ 嫌気担体流動循環ろ過方式)</p> <p>図示による。</p> <p>2. その他</p> <p>1. システム構成その他</p> <p>2. 配管材料</p> <p>3. 弁類</p> <p>4. 量水器</p> <p>5. 雨水電動遮断弁</p> <p>6. 網かご形スクリーン</p> <p>7. 薬液注入装置</p> <p>図示による。</p> <p>1) 一般配管用 ・ ポリ粉体鋼管(SGP-PA)(SGP-FPA)</p> <p>2) 土間配管用 ・ ポリ粉体鋼管(SGP-PD)(SGP-FPD)</p> <p>3) 地中配管用 ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)</p> <p>図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。</p> <p>※ バルブ式 ・ 直読式</p> <p>・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ バタフライ弁</p> <p>目幅の有効間隔は(※ 5mm ・ ____mm)とする。</p> <p>構成その他は図示による。</p> <p>冷媒の回収方法について</p> <p>冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は(※ 本工事 ・ 別途工事)とする。</p> <p>(1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。</p> <p>○ 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書(都道府県知事登録)の写し</p> <p>○ 事前確認書の写し ○ 回収依頼書の写し ○ 引取証明書 ○ 破壊証明書の写し</p> <p>(2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。</p> <p>○ 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し</p>	<p>石綿含有設備資材の処理について</p> <p>I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法</p> <p>1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。</p> <p>撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。</p> <p>2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員に承諾を受ける。</p> <p>(1) ダクトフランジ部</p> <p>ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。</p> <p>1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を実施する。</p> <p>2) ダクトの切断は、フランジ部分の高さ約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。</p> <p>(2) たわみ継手フランジ部</p> <p>たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。</p> <p>1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を実施する。</p> <p>2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の高さ約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。</p> <p>(3) 配管フランジ部</p> <p>配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。</p> <p>1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。</p> <p>(4) 成形保温材付き配管の曲線部</p> <p>成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。</p> <p>1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。</p> <p>2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。</p> <p>3) 配管の切断は、密閉部分の高さ約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>II. 石綿を含有する設備資材の処理方法(※撤去費・運搬費・処分費は別途)</p> <p>(1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員に承諾を受ける。</p> <p>(2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議し、監督職員に報告する。</p> <p>(3) 石綿撤去後、監督職員へ報告書提出する。</p> <p>(4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。</p> <p>フランジ外周部に飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等</p> <p>成形保温材に飛散抑制剤の塗布</p> <p>成形保温材前後の保温材撤去</p> <p>配管切断箇所</p> <p>ダクト切断部</p> <p>機器切断部</p> <p>成形保温材付き配管撤去要領図 S-S</p> <p>ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S-S</p> <p>建築物解体工事(機械設備の部)</p> <p>I. 工事概要(解体工事の部)</p> <p>1. 工事内容(解体工事の部)</p> <p>1) 特記仕様書(機械設備の部)1.2.建物概要に記載された取り壊し建物等の撤去を行う。</p> <p>2) 上記撤去範囲部分は、地中埋設部分を含めて全て撤去する。</p> <p>3) 本工事による撤去機器、配管及び樹類は、場内の指定場所に集積する。(図面は参考とする)</p> <p>(1) 建物については、</p> <p>① 重機作業に影響のある以下の機器を、建築工事の重機作業に先行して撤去する。</p> <p>○ 図示された機器のうち、太線またはハッチング等により明示されたもの。(コンクリート基礎の撤去は建築に含む。)</p> <p>② 人体及び地球環境に影響を及ぼす冷媒等の回収・破壊処理を行う。</p> <p>フロンガスは「冷媒の回収方法について」による。</p> <p>③ 熱源の残油はタンク及び配管内を含み回収し、適切に処理するものとし、(※ 本工事 ・ 別途工事)とする。</p> <p>(2) その他機器及び配管・ダクト類について、処理に関する記載のない事項は、全て重機による取り壊しとする。</p> <p>(3) 屋外埋設機器及び配管・樹類については全て撤去する。</p> <p>図示された樹類のうち、量水器樹、弁樹、散水栓BOX、ため樹、インバート樹は、建築工事の重機作業の後に機械設備にて撤去する。</p> <p>空気およびプラスチック樹は建築工事の重機作業に含む。</p> <p>(4) 給水、排水、ガス設備については指定店により、閉栓工事を行う。</p> <p>4) 撤去する配管、ダクト(付属品含む)の保温材の分離は原則として中間処理上にて行う。</p> <p>5) 浄化槽内の汚泥採取、清掃、消毒を施工した後、撤去する。</p> <p>(浄化槽内の汚泥採取、清掃、消毒は施設管理者側で実施し本工事では実施しない)</p> <p>II. 工事仕様(解体工事の部)</p> <p>1. 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、特記仕様書(機械設備工事の部)による。</p>
	外気条件		室内 (調整目標値)																		
温度(DB)	湿度	一般系統	温度(DB)湿度																		
夏季 34.9℃ 51.0%	28.0℃ 50%																				
冬季 -0.2℃ 69.9%	19.0℃ 40%																				



@BMM-004 附近見取図、配置図 IMG1.PNG, 174.41, 116.25, 0.0, 1.0, 0

出典：国土地理院

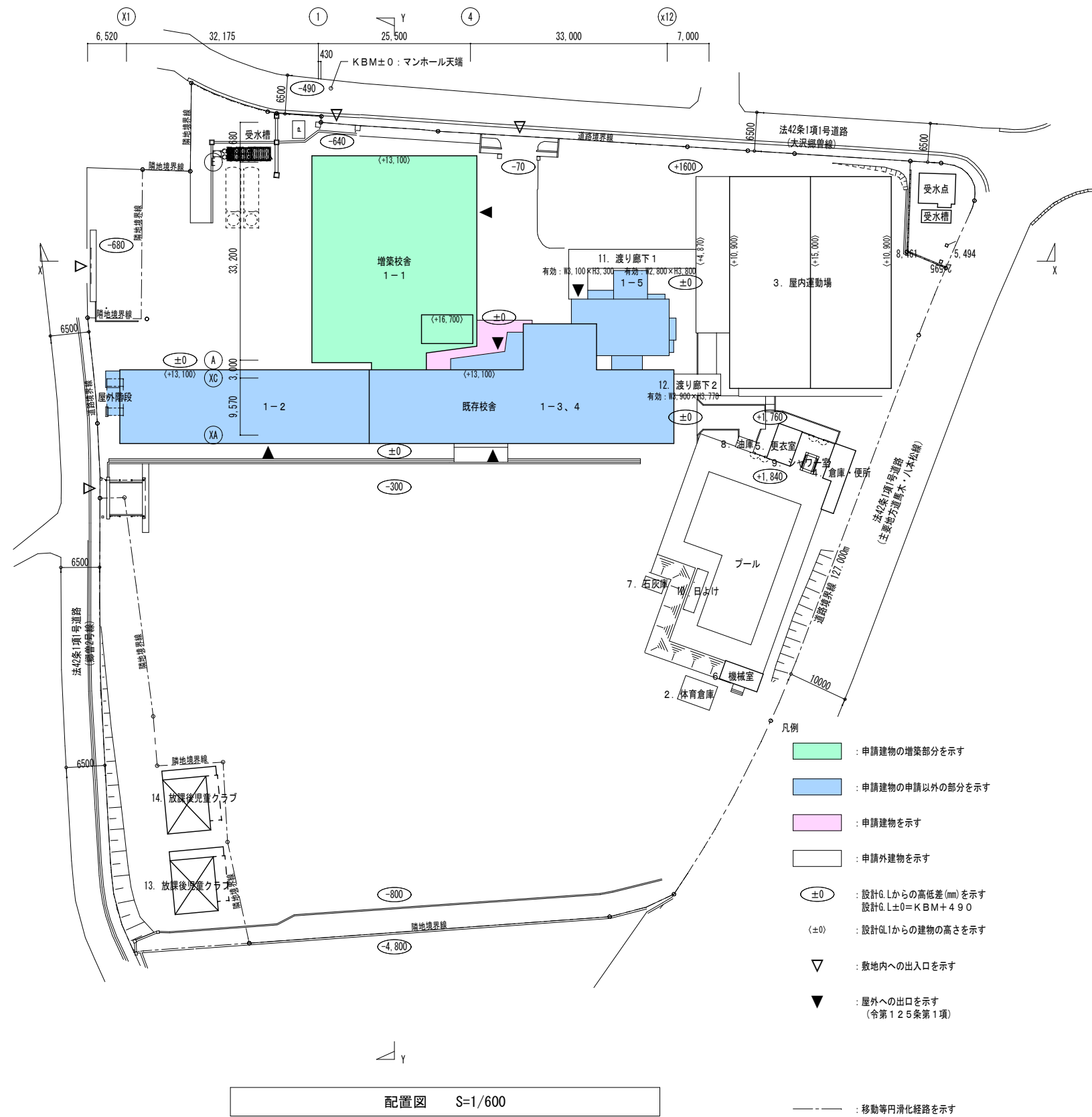
工事場所：東広島市西条町郷管

附近見取図

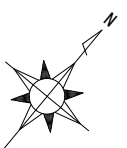
確認申請書第3記載事項

番号	建物名称	構造	階数	建築面積 (m ²)	延べ面積 (m ²)	最高高さ (m)	耐火等	備考	
								確認済証	検査済証
1-1	特別教室棟	RC造	3	880.39	2,466.27	16.700	耐火	増築	
1-2	普通特別教室棟	RC造	3	471.06	1,176.68	13.100	耐火	既存	第1739号 (S54/11/09) 第1127号 (S55/05/22)
1-3	管理教室棟	RC造	3	805.28	1,508.31	13.100	耐火	既存	第1407号 (S58/09/20) 第585号 (S59/03/30)
1-4	特別教室棟	RC造	3	12.63	257.37	13.100	耐火	既存	第585号 (S59/03/30) 第2244号 (H01/10/19) 第799号 (H02/02/27)
1-5	プラットフォーム	S造	平	0.00	0.00	13.100	その他	既存	床面積10m ² 以下の増築のため申請なし
15	庇	S造	平	68.66	68.66	4.800	その他	増築	
小計				2,260.49	5,498.13				
2	体育倉庫	CB造	平	21.92	21.92	3.350	その他	既存	第1407号 (S58/09/20) 第585号 (S59/03/30)
3	屋内運動場	RC造	平	1,075.03	922.65	15.000	準耐火	既存	第2281号 (S63/01/11) 第368号 (S63/08/18)
4	プール付属棟 倉庫・便所	RC造	平	31.00	31.00	5.140	その他	既存	第H12通建築東広島000013号 (H12/12/05) 第H13計済建築東広島00002号 (H13/05/24)
5	プール付属棟 更衣室	RC造	平	24.00	24.00	5.140	その他	既存	
6	プール付属棟 機械室	RC造	平	19.50	19.50	4.740	その他	既存	
7	石灰庫	RC造	平	6.13	6.13	2.450	その他	既存	
8	油庫	RC造	平	5.16	5.16	4.290	その他	既存	
9	シャワー室	S造	平	5.23	5.23	4.240	その他	既存	
10	日よけ	S造	平	6.69	6.69	4.145	その他	既存	
11	渡り廊下1	S造	平	56.54	56.54	4.020	その他	既存	第2281号 (S63/01/11) 第368号 (S63/08/18)
12	渡り廊下2	S造	平	37.86	21.17	6.950	その他	既存	第2244号 (H01/10/19) 第799号 (H02/02/27)
13	放課後児童クラブ	S造	平	75.74	66.02	3.845	その他	既存	第H12通建築東広島000004号 (H12/08/16) 第H12通建築東広島000008号 (H12/11/22)
14	放課後児童クラブ	S造	平	79.05	66.02	3.800	その他	既存	第H24通建築東広島000013号 (H24/09/10) 第H24計済建築東広島000013号 (H25/03/08)
小計				1,294.18	1,125.11				
申請部分				955.05	2,534.93		1-1, 15		
申請以外の部分				2,755.29	4,215.23		1-2~5, 2~14		

※下記の建物は10m以下建物として建築物の数には含まない。
7：石灰庫、8：油庫、9：シャワー室、10：日よけ
※最高高さは設計G.L.±0よりの高さを示す。



配置図 S=1/600



衛生設備 機器表

記号	名称	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			φ	V	kW			
TW-1	ステンレス鋼板製保温付パネルタンク	仕様	ステンレス鋼板製保温付パネルタンク (WTSU-20) 2槽式 水平震度: 1.5G			1	屋外	基礎: 建築工事
		容量	有効容量: 13.5m ³ 呼称: 20.0m ³					
		水槽寸法	4000×2000×2500H (4000×1000×2500H×2槽)					
		ポンプ室寸法	3000×2000×2500H					
		付属品	緊急遮断弁100×2(制御盤, 二次側配線共), 600φマンホール2重蓋(鍵付)×2, (通気口、水槽内梯子、外部梯子(背籠付)、防波板、電極座(5P, 3P))×2、 平架台150H, アンカーボルト(SUS製), 非常用水栓×2, その他付属品共 その他付属品共					
PU-1	上水用加圧給水ポンプユニット	型式	3台並列自動交互3台ローテーション運転 インバーター方式			1	受水槽ポンプ室	参考品番: NX-80VFC402-3.7T×3-e(テラル)
		能力	50φ×80φ×780L/min×41m					
		付属品	圧力発信器, 制御盤, 圧力タンク, 逆止弁, 凍結防止装置, その他付属品共					
JK-1	合併処理浄化槽	仕様	110人槽 耐荷重T-10 (M-039~42 浄化槽参考図参照)			1	屋外	
HB-1A	屋内消火栓	仕様	易操作性1号消火栓 埋込形 亜鉛メッキ鋼板製易操作性1号消火栓1.6tメラミン焼付け塗装仕上げ			4	1階~3階	
		付属品	弁40A, ホース30A×30m, 噴霧切替ノズル, 他付属品一式					
WHE-1	電気温水器	仕様	床置型(角型) 貯湯量 150L 漏電検出, 過昇温検出, 空焚防止機能組込			1	1階 家庭科室	参考品番: ES-150RB-T(2)(イトミック) 基礎: 建築工事
		付属品	減圧弁, 逃し弁, その他付属品共					
WHE-2	電気温水器	仕様	先止め式 貯湯量 12.0L 週間タイマー, 空焚防止機能組込			1	1階 湯沸室	参考品番: REW12B2BKSCM(TOTO)
		付属品	給水給湯連結管, 止水栓, 膨張水排出装置(流し排水用) その他付属品共					
PT-1	プラスタートラップ	仕様	床置型 FRP製 プラスタートラップ阻集器 接続配管径: 50A 容量: 15L 概略寸法: 540×350×300L			3 1	3階 図工室 3階 図工準備室	参考品番: PF3-15F(ホーコス)
GT-1	グリーストラップ	仕様	地中埋設用パイプ流入FRP製 グリーストラップ阻集器 3槽式 接続配管径: 100A 蓋: ステンレス製 耐荷重T-14 許容流入流量: 70L/min 許容阻集グリース質量: 23.2kg 概略寸法: 730×350×500L			1	屋外	参考品番: HGR-NX70P(ホーコス)
GBK-1	ガスボンベ庫	仕様	LPガス容器収納庫 50kg容器 4本 容量: 15L 概略寸法: 540×350×300L			1	屋外	参考品番: ボンベックBN-200(ホクエイ)



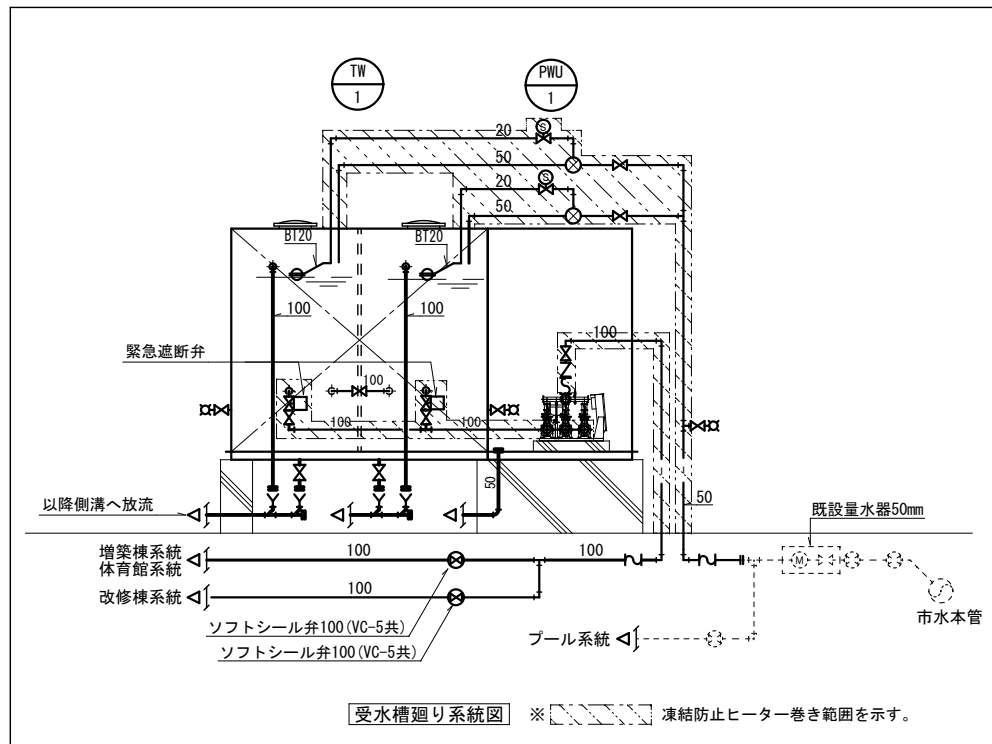
凡例

記号	名称	備考	
——	給水(上水) (屋内一般)	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA)	JWWA K 116
——	給水(上水) (屋外埋設)	水道配水用ポリエチレン管 (PE)	JWWA K 144
——	給水(上水) (引込部量水器一次側)	水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP)	JIS K 6742
——	給湯送り管	一般配管用ステンレス鋼管 (SUS)	JIS G 3448
——	屋内雑排水(ピット内)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741
——	屋内汚水管(40A以上)	排水通気用耐火二層管 (内管VP) 認定番号: PS060WL-0534 (壁) PS060FL-0454 (床)	
——	屋外排水 (屋外埋設)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741
——	屋内汚水管(ピット内)	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741
——	屋内汚水管(40A以上)	排水通気用耐火二層管 (内管VP)	
——	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741
——	立管 (PS内)	排水通気用耐火二層管 (内管VP)	
——	ポンプアップ排水	水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP)	JIS G 3452

記号	名称	備考	
—X—	屋内消火栓配管(屋内一般)	配管用炭素鋼鋼管(白) (SGP 白)	JIS G 3452
——	仕切弁	明記なきは管サイズ (50A以下GV, 65A以上BV)	
——	逆止弁	明記なきは管サイズ	
——	Y型ストレーナー		
——	フレキシブル継手	明記なきは管サイズ	
——	防振継手		
——	満水試験兼用掃除口付伸縮継手		
——	給水栓		
——	混合水栓		
——	自動エア抜弁		
——	床上掃除口		

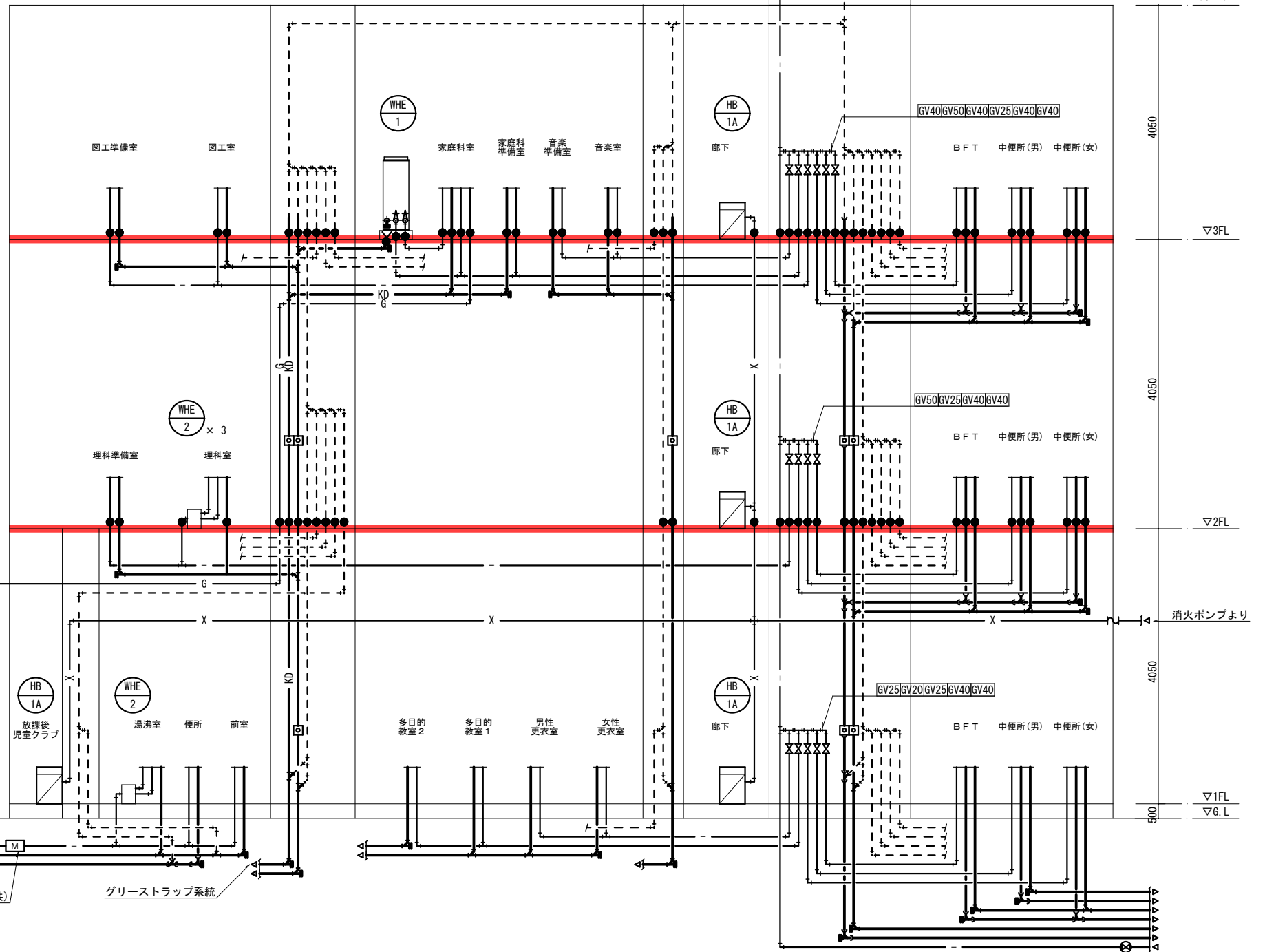
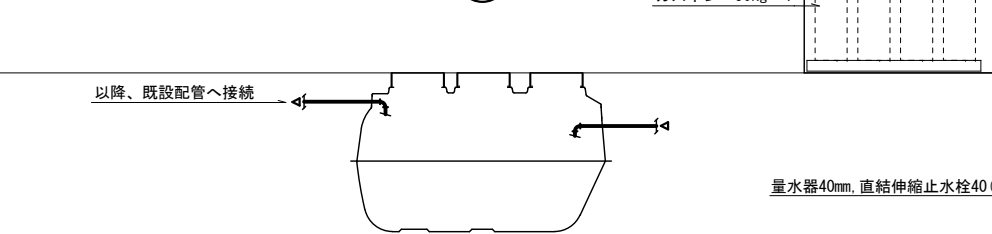
記号	名称	備考	
▶	通気用ベントキャップ	SUS製埋込型、サイズは図示による	
●	埋設表示ピン(舗装部)	鉄製	
□	埋設表示ピン(非舗装部)	コンクリート製	
▶	屋内消火栓(易操作性1号消火栓)	HB-1A	
▶	屋外散水栓	水栓柱(H=1200)	
▶	屋外散水栓		
▶	インバート樹		
▶	量水器		

注) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP 100A以上) で、面積区画及び防火上主要な間仕切壁を貫通する配管は、貫通部前後1m以上を耐火二層管とする。



記号	名称
■	面積区画 (≦1,500m ²) を示す。
■	面積+壁穴区画を示す。
■	異種用途区画を示す。
■	防火上主要な間仕切を示す。
■	防煙壁を示す。

※ 区画貫通箇所を示す。
(横引管の区画貫通処理箇所は平面図参照)



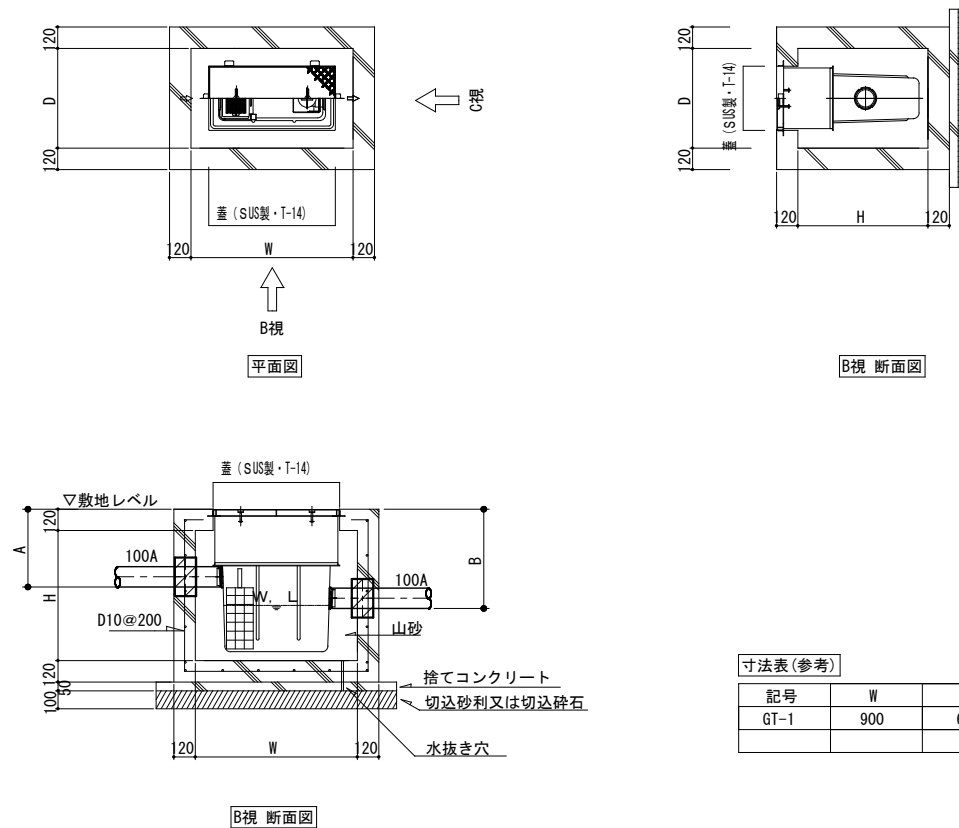
樹リスト<汚水・雑排水>

樹番号	樹名称	樹寸法	管底寸法 基準GLより	敷地レベル 基準GLより	樹深さ	蓋仕様	備考
1	小口径樹	90L 100-200	-800	0	-800	塩ビ製蓋200φ	
2	小口径樹	ST 100-200	-930	250	-1,180	塩ビ製蓋200φ	
3	インバート樹(SC-3)	600×600	-1,040	0	-1,040	MHA-600	
4	インバート樹(SC-3)	600×600	-1,200	0	-1,200	MHA-600	
5	インバート樹(SC-4)	600×600	-1,220	0	-1,220	MHA-600	
6	インバート樹(SC-4)	600×600	-1,410	0	-1,410	MHA-600	
7	インバート樹(SC-4)	600×600	-1,470	0	-1,470	MHA-600	
8	インバート樹(SC-4)	600×600	-1,540	0	-1,540	MHA-600	
9	インバート樹(SC-4)	600×600	-1,680	-400	-1,280	MHA-600	
10	インバート樹(SC-4)	600×600	-1,790	-640	-1,150	MHD-600	
11	インバート樹(SC-4)	600×600	-1,950	-350	-1,600	MHD-600	
12	インバート樹(SC-4)	600×600	-2,080	-600	-1,480	MHD-600	
13	小口径樹	90L 100-200	-700	200	-900	塩ビ製蓋200φ	
14	小口径樹	90Y 125-200	-740	200	-940	塩ビ製蓋200φ	3cm段差付き
15	小口径樹	90L 125-200	-780	300	-1,080	塩ビ製蓋200φ	
16	小口径樹	90L 125-200	-860	300	-1,160	塩ビ製蓋200φ	
17	小口径樹	90L 125-200	-960	0	-960	塩ビ製蓋200φ	
18	小口径樹	90Y 125-200	-1,000	0	-1,000	塩ビ製蓋200φ	3cm段差付き
19	小口径樹	90Y 125-200	-1,030	0	-1,030	塩ビ製蓋200φ	
20	小口径樹	90Y 125-200	-1,070	0	-1,070	塩ビ製蓋200φ	3cm段差付き
21	小口径樹	90Y 125-200	-1,110	0	-1,110	塩ビ製蓋200φ	3cm段差付き
22	小口径樹	90Y 125-200	-1,130	0	-1,130	塩ビ製蓋200φ	
23	小口径樹	90L 100-200	-600	0	-600	塩ビ製蓋200φ	
24	小口径樹	90Y 100-200	-620	0	-620	塩ビ製蓋200φ	
25	小口径樹	90L 100-200	-600	-50	-550	鑄鉄製蓋(T-14)+内蓋200φ	
26	小口径樹	90Y 100-200	-650	-110	-540	鑄鉄製蓋(T-14)+内蓋200φ	
27	小口径樹	90Y 100-200	-770	-350	-420	鑄鉄製蓋(T-14)+内蓋200φ	
28	小口径樹	90WYS 150-200	-840	-350	-490	鑄鉄製蓋(T-14)+内蓋200φ	5cm段差付き
29	小口径樹	90L 100-200	-830	-350	-480	鑄鉄製蓋(T-14)+内蓋200φ	
30	小口径樹	90L 100-200	-600	-350	-250	鑄鉄製蓋(T-14)+内蓋200φ	
31	小口径樹	90L 100-200	-750	-350	-400	鑄鉄製蓋(T-14)+内蓋200φ	
32	小口径樹	90L 100-200	-500	0	-500	塩ビ製蓋200φ	
33	小口径樹	90L 100-200	-620	0	-620	塩ビ製蓋200φ	
34	小口径樹	ST 100-200	-740	0	-740	塩ビ製蓋200φ	
35	小口径樹	WLS 125-200	-860	0	-860	塩ビ製蓋200φ	3cm段差付き
36	小口径樹	45Y 125-200	-960	-530	-430	鑄鉄製蓋(T-14)+内蓋200φ	
37	小口径樹	90Y 100-200	-500	0	-500	塩ビ製蓋200φ	
38	小口径樹	90Y 100-200	-570	0	-570	塩ビ製蓋200φ	
39	小口径樹	90Y 100-200	-590	0	-590	塩ビ製蓋200φ	
40	小口径樹	90Y 125-200	-630	0	-630	塩ビ製蓋200φ	3cm段差付き
41	小口径樹	90Y 125-200	-670	0	-670	塩ビ製蓋200φ	3cm段差付き
42	小口径樹	90L 100-200	-350	0	-350	塩ビ製蓋200φ	
43	小口径樹	ST 100-200	-450	0	-450	塩ビ製蓋200φ	

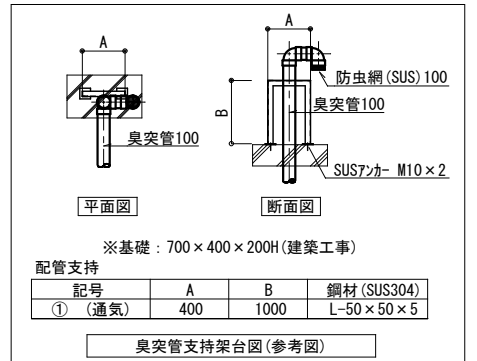
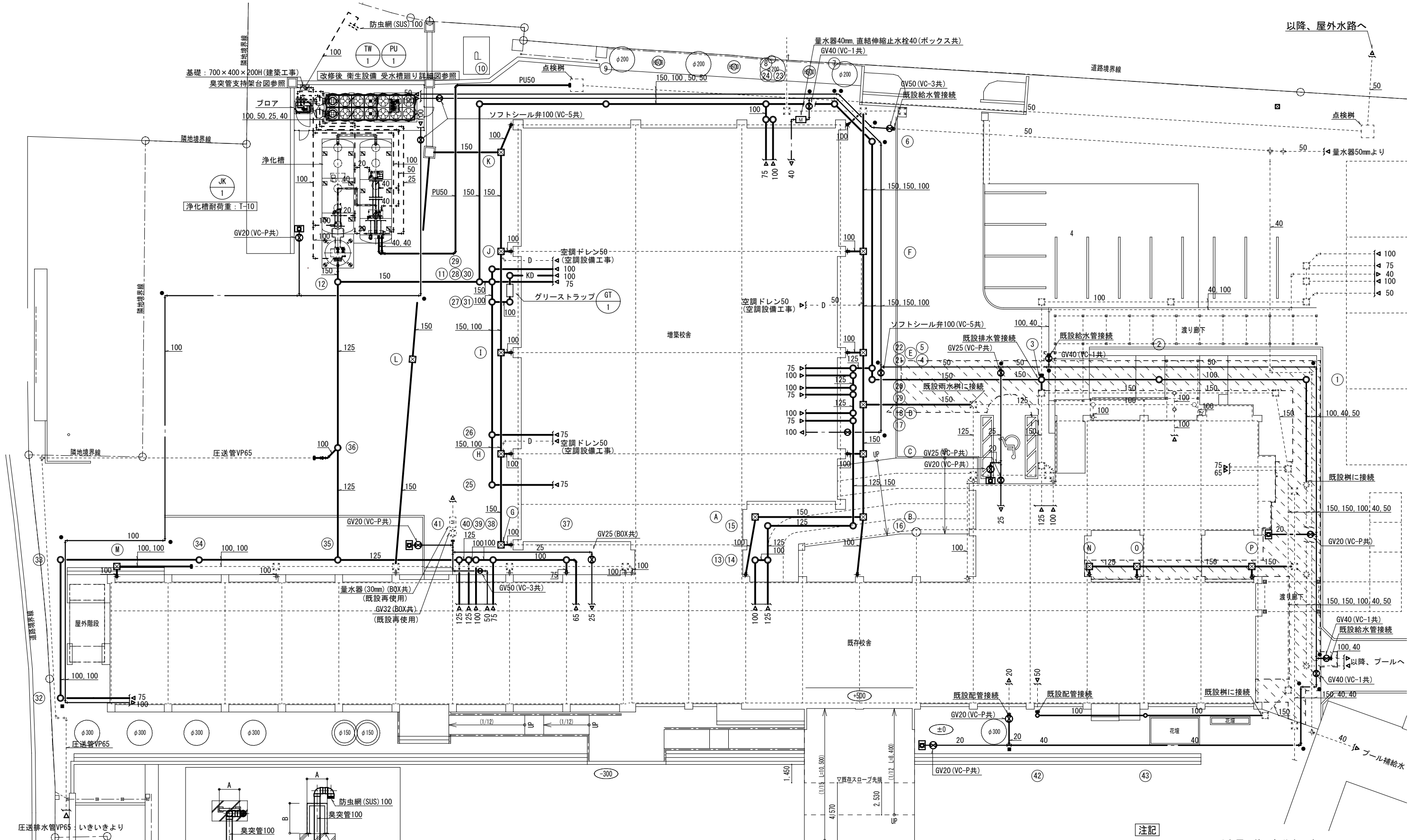
樹リスト<雨水>

樹番号	樹名称	樹寸法	管底寸法 基準GLより	敷地レベル 基準GLより	樹深さ	蓋仕様	備考
A	ため樹(RC-2)	450×450	-300	100	-400	MHA-450	
B	ため樹(RC-2)	450×450	-350	300	-650	MHA-450	
C	ため樹(RC-2)	450×450	-380	0	-380	MHA-450	
D	ため樹(RC-2)	450×450	-410	0	-410	MHA-450	
E	ため樹(RC-2)	450×450	-440	0	-440	MHA-450	
F	ため樹(RC-2)	450×450	-500	0	-500	MHA-450	
G	ため樹(RC-2)	450×450	-300	0	-300	MHD-450	
H	ため樹(RC-2)	450×450	-350	-80	-270	MHD-450	
I	ため樹(RC-2)	450×450	-450	-210	-240	MHD-450	
J	ため樹(RC-2)	450×450	-700	-350	-350	MHD-450	
K	ため樹(RC-2)	450×450	-920	-640	-280	MHD-450	
L	ため樹	450×450	-1,000	-530	-470	MHD-450	
M	ため樹	450×450	-700	0	-700	MHB-450	
N	ため樹	350×350	-270	0	-270	MHB-350	
O	ため樹	350×350	-315	0	-315	MHB-350	
P	ため樹	350×350	-385	0	-385	MHB-350	

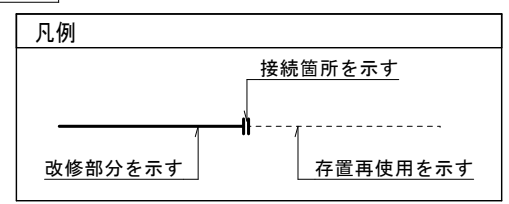
GT-1 グリーストラップ 参考図 ※躯体は建築工事



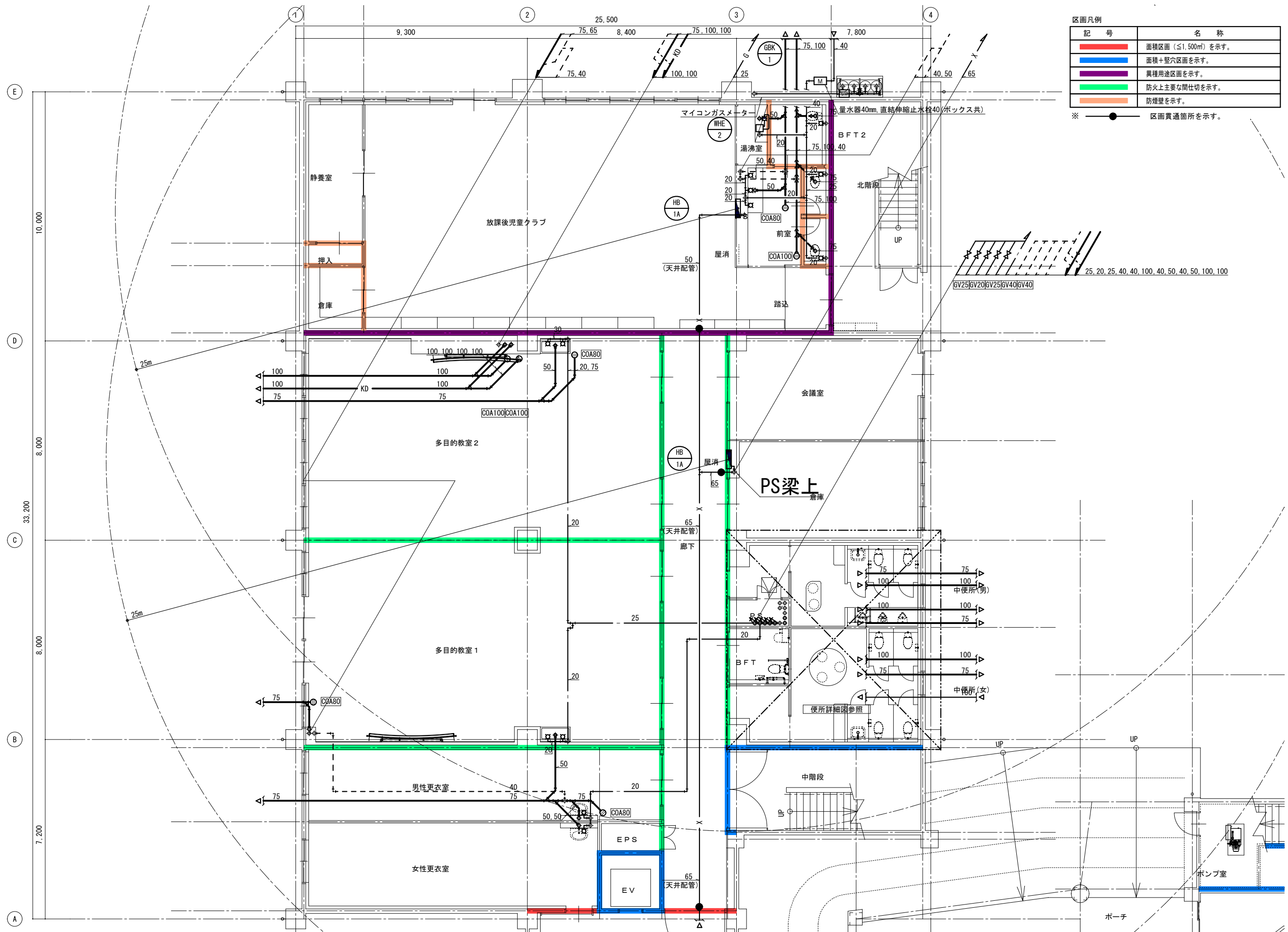
記号	W	D	H	A	B
GT-1	900	600	600	270	370



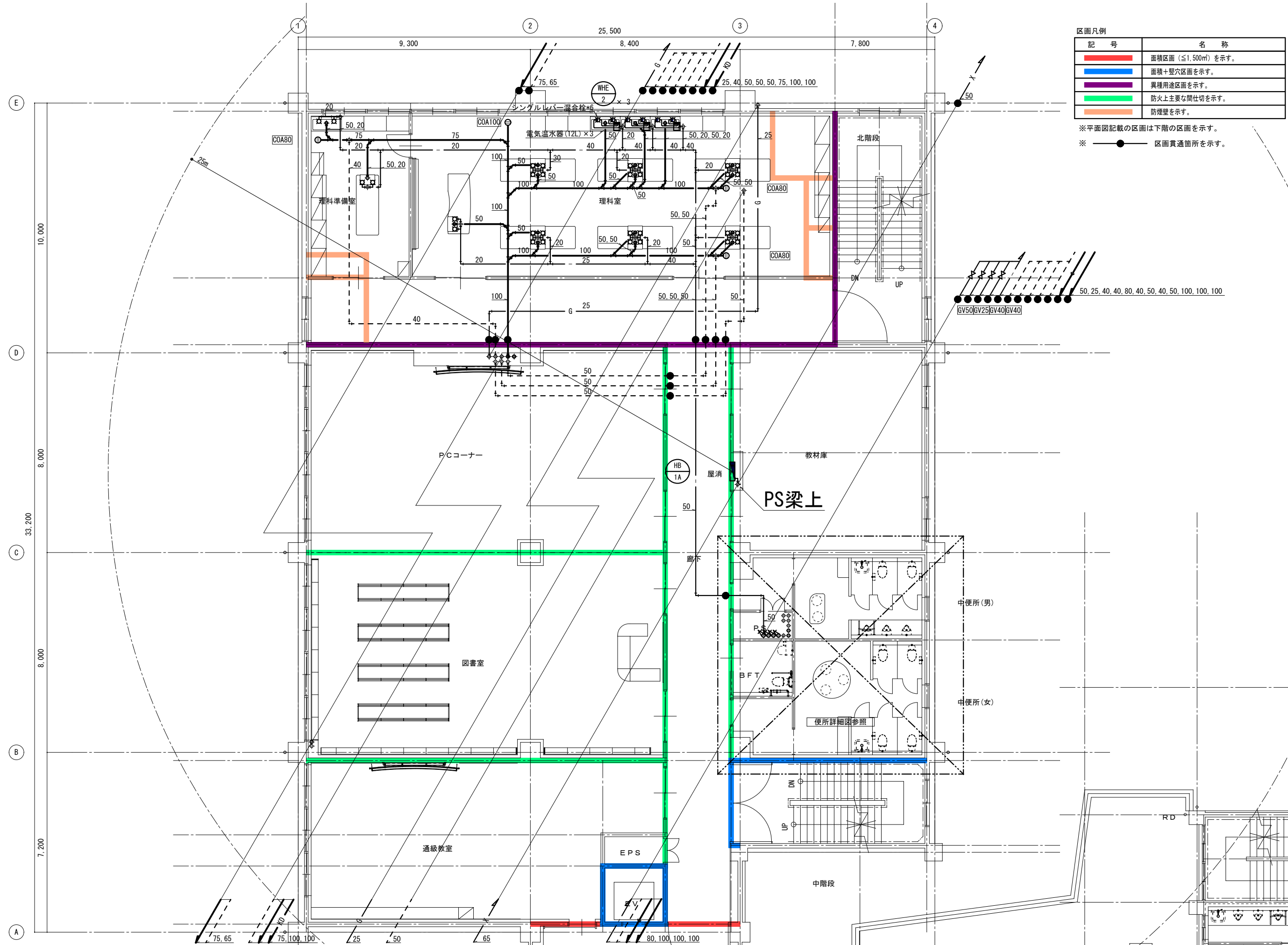
改修後 衛生設備 屋外配管図 S=1/200



- 注記
1. ----- は存置再使用部分を示す。
 2. ————— は改修部分を示す。
 3. = = = は既設配管接続を示す。
 4. ● は埋設表示ピンを示す。
 5. ■ は埋設表示杭を示す。
 6. [ハatched] はアスファルト撤去、復旧範囲(建築工事)を示す。

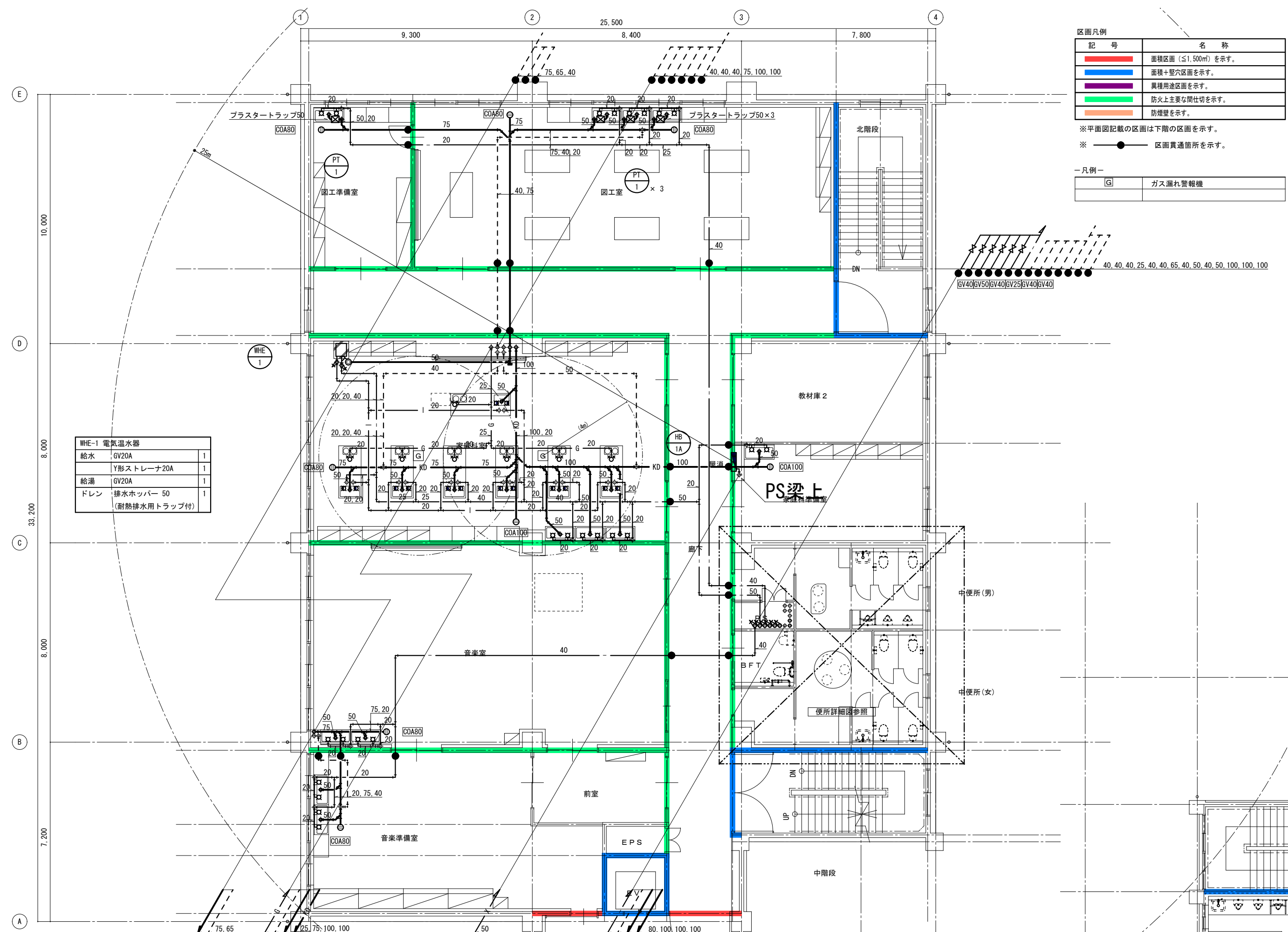


記号	名称
■	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
■	面積+整穴区画を示す。
■	異種用途区画を示す。
■	防火上主要な間仕切を示す。
■	防煙壁を示す。
※ ●	区画貫通箇所を示す。



記号	名称
■	面積区分 (≦1,500㎡) を示す。
■	面積+整穴区分を示す。
■	異種用途区分を示す。
■	防火上主要な間仕切を示す。
■	防煙壁を示す。

※平面図記載の区分は下階の区分を示す。
 ※ ●—● 区分貫通箇所を示す。



区画凡例

記号	名称
[Red Line]	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
[Blue Line]	面積+壁穴区画を示す。
[Purple Line]	異種用途区画を示す。
[Green Line]	防火上主要な間仕切を示す。
[Orange Line]	防煙壁を示す。

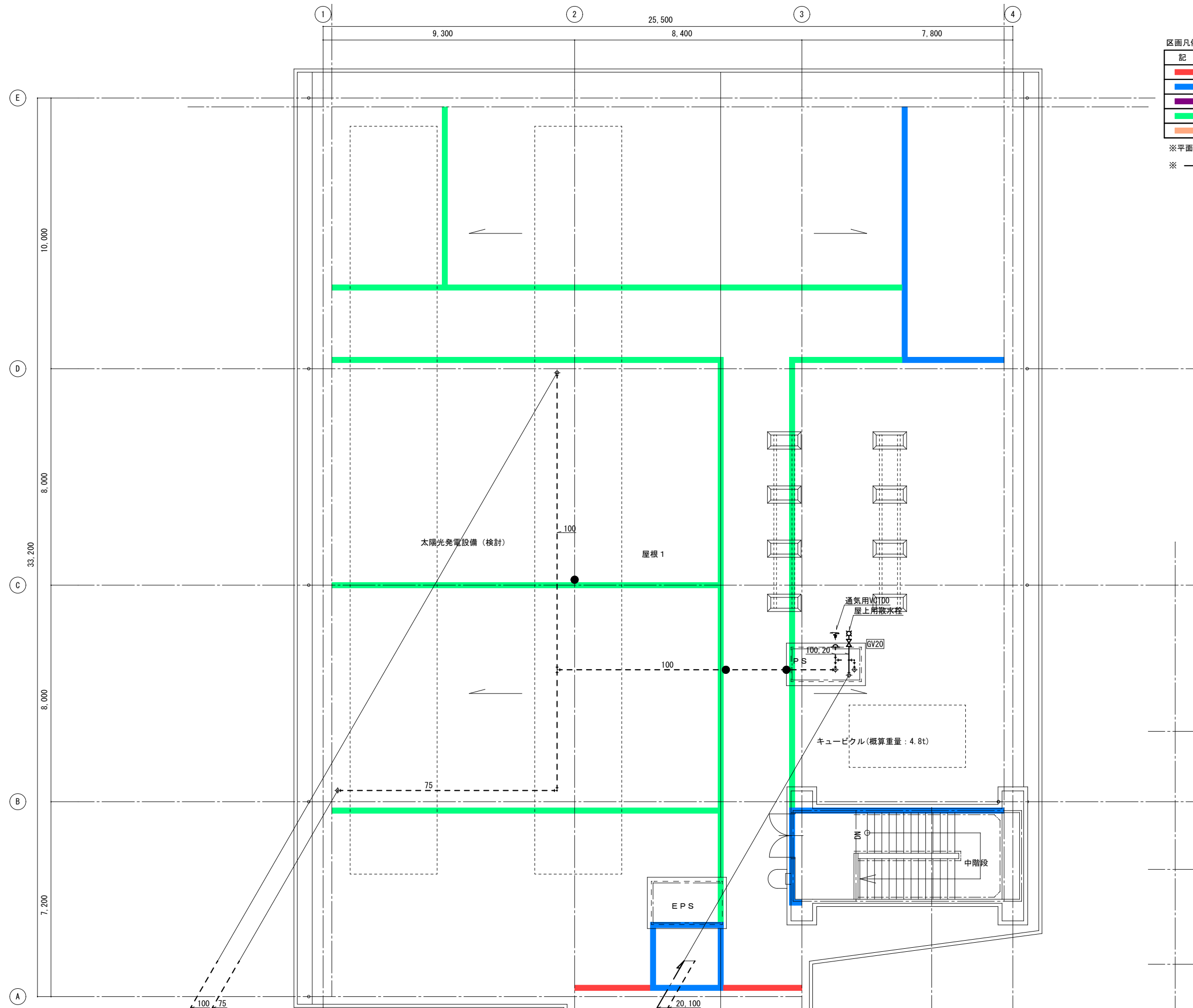
※平面図記載の区画は下階の区画を示す。
 ※ [Symbol] 区画貫通箇所を示す。

凡例

[G]	ガス漏れ警報機
-----	---------

WHE-1 電気温水器

給水	GV20A	1
	Y形ストレーナ20A	1
給湯	GV20A	1
ドレン	排水ホッパー 50 (耐熱排水用トラップ付)	1



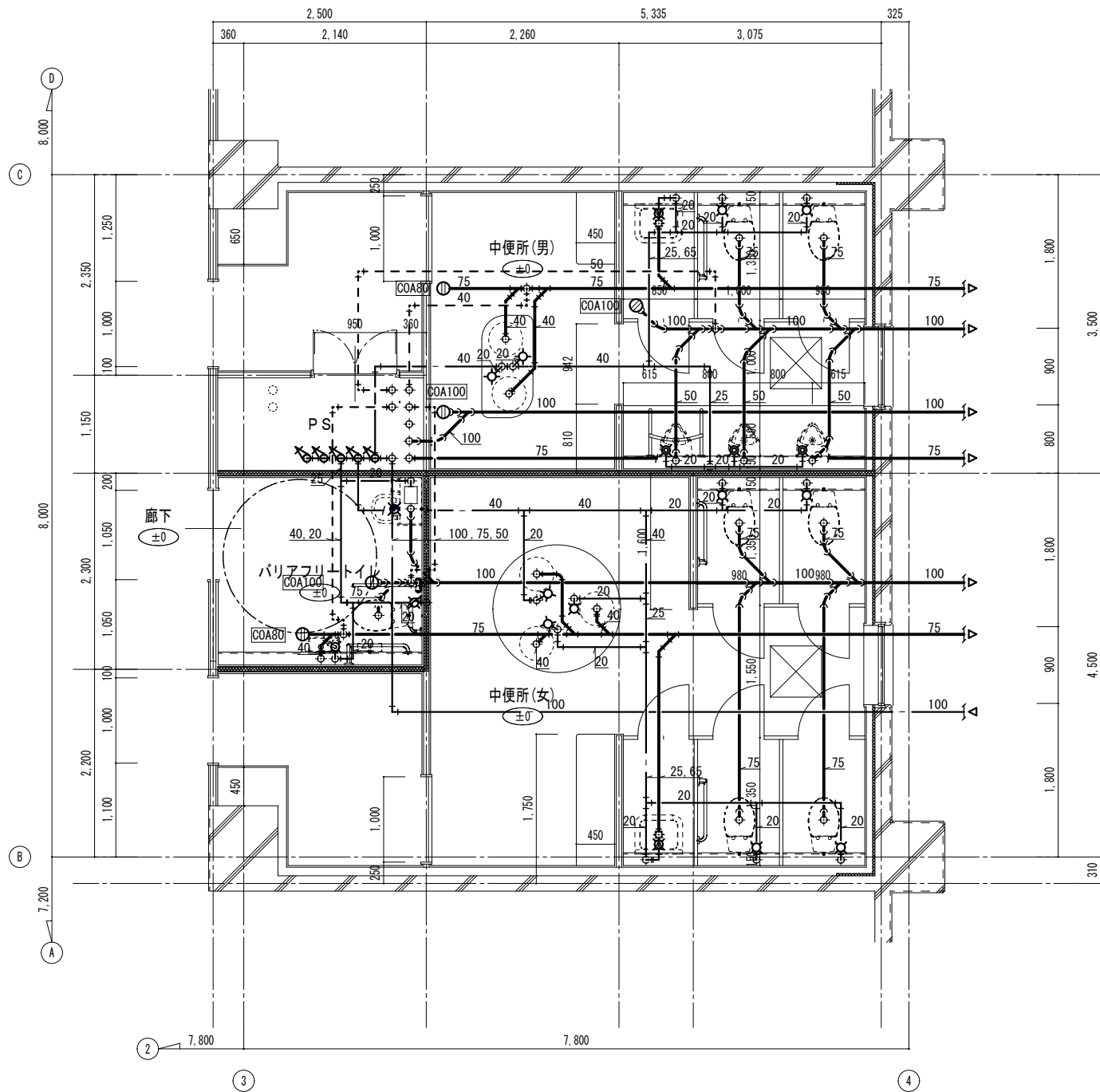
区画凡例

記号	名称
—	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
—	面積+整穴区画を示す。
—	異種用途区画を示す。
—	防火上主要な間仕切を示す。
—	防煙壁を示す。

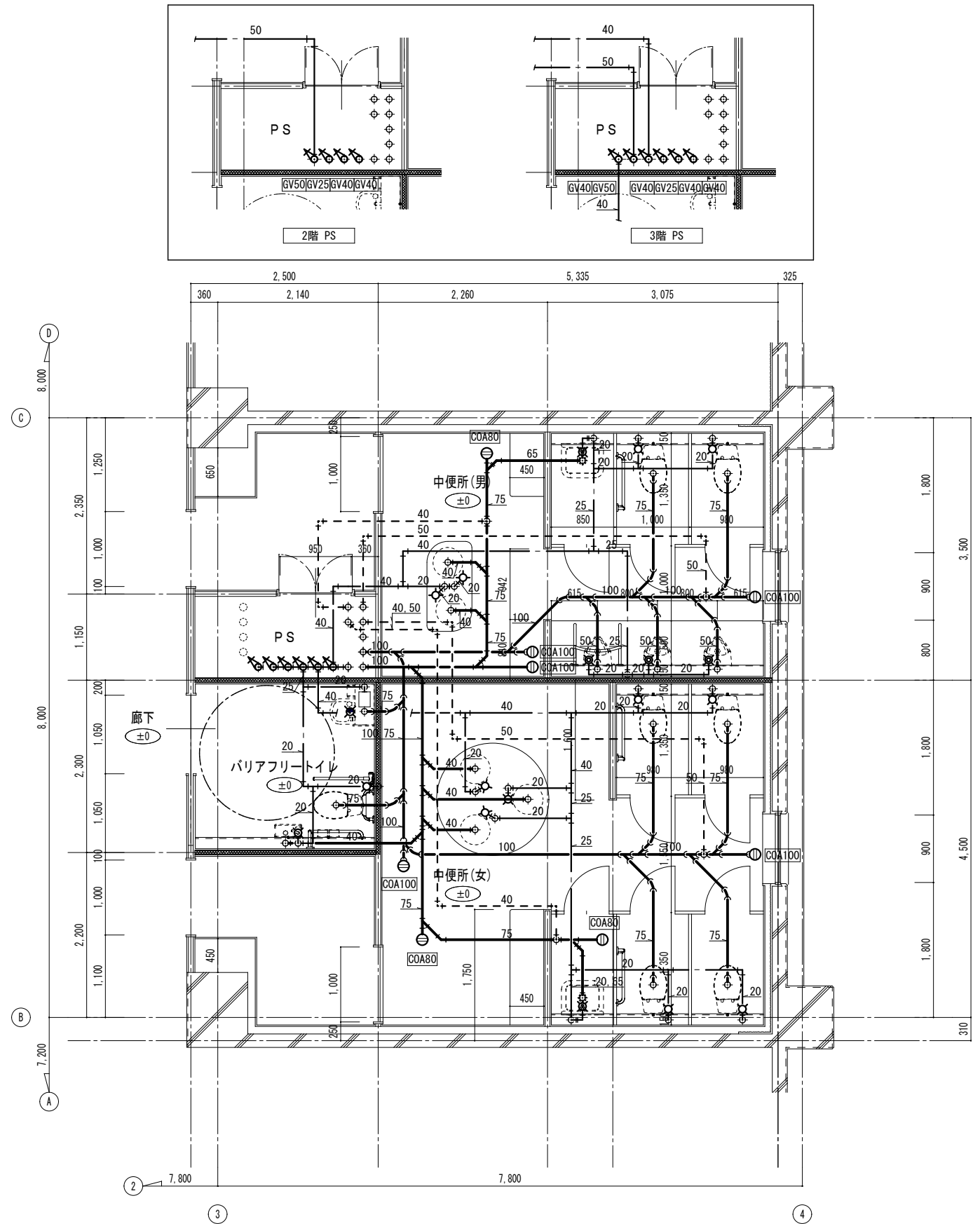
※平面図記載の区画は下階の区画を示す。
 ※ ● 区画貫通箇所を示す。

工事名: 令和8年度 小学校施設整備事業 郷田小学校長寿命化改良及び増築工事
 図面名: 増築棟 衛生設備 屋根伏図
 縮尺: 1/100
 査図: 部長: 課長: 主任: 担当:
 A2版: 100%
 A3版: 70%

日付: R5年
 図番: M-113

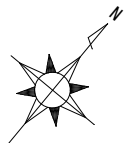


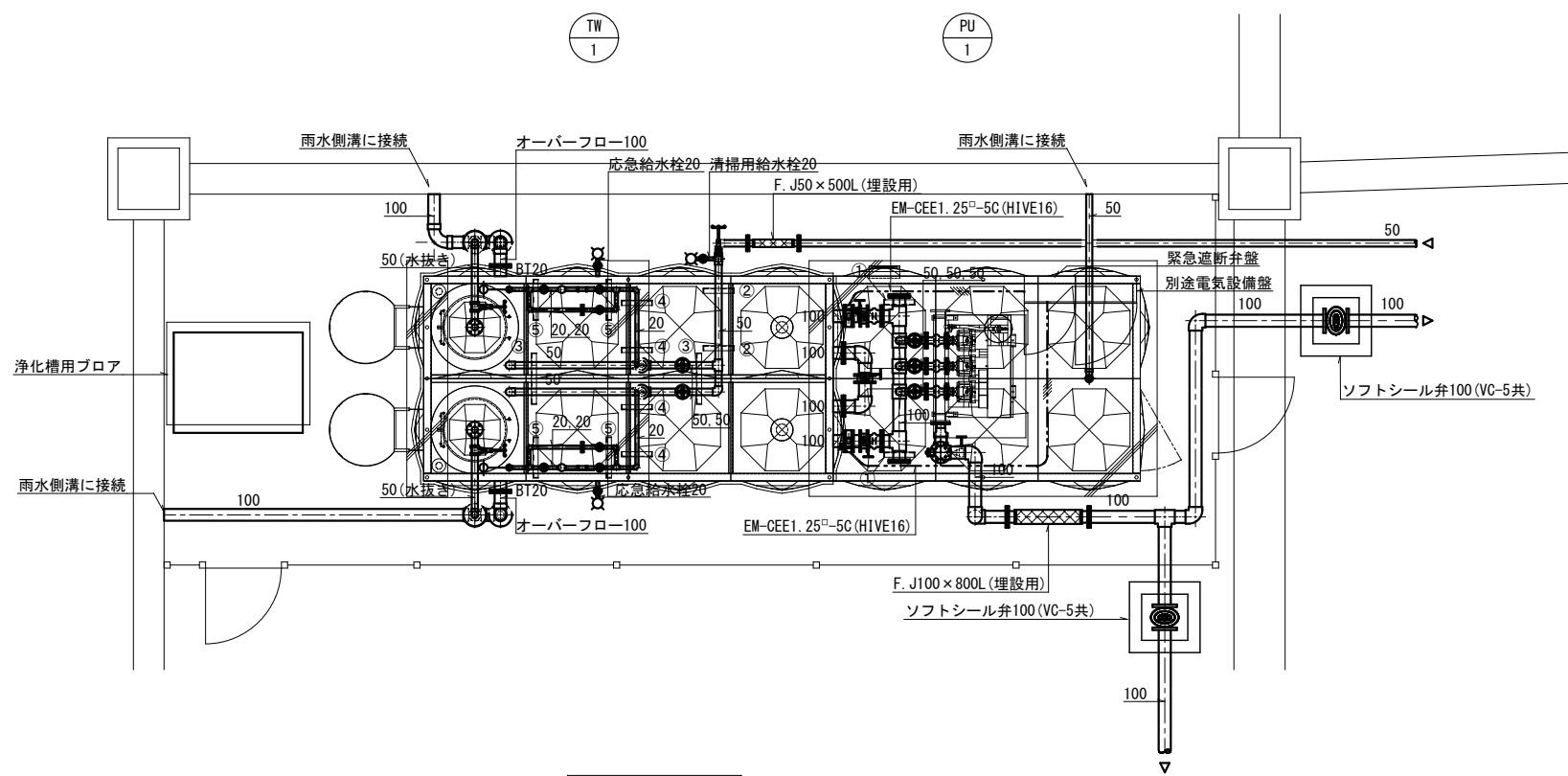
1階



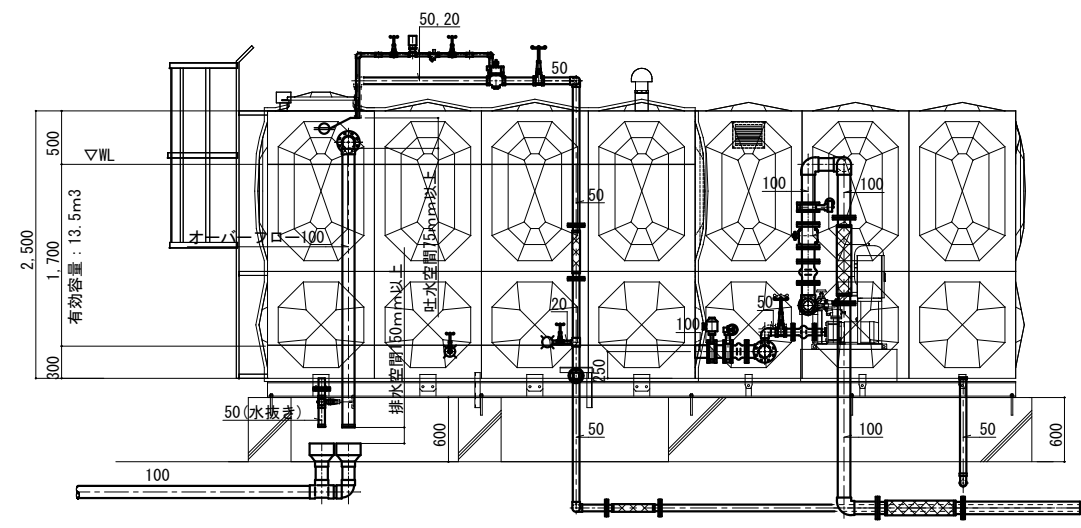
2, 3階

便所 平面詳細図 S=1/50





受水槽廻り平面図

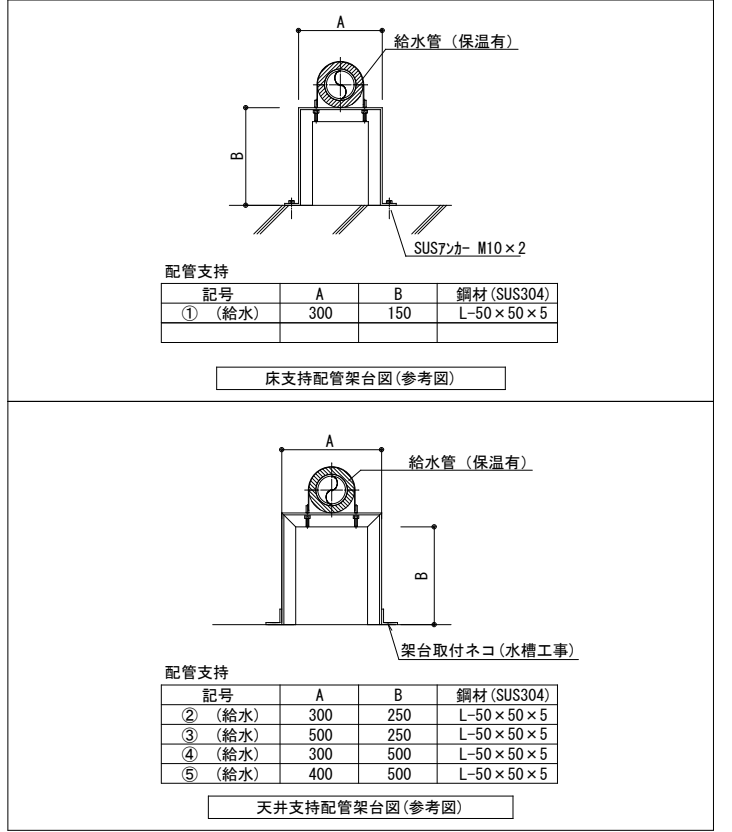


受水槽廻り断面図

記号	名称	給水装置	数量
Ⓕ	定水位弁装置	定水位弁(ストレーナ内臓) 50, GV50, 電磁弁20, GV20x3, Yスト20, BT20(複式)	2

器具名	個数
GV50(受水槽1次側)	1
F. J50×500L(受水槽1次側)	1
GV20(清掃用給水栓用)	1
GV20(応急給水栓用)	2
GV50(水抜き)	2
BV100	3
緊急遮断弁100(水槽付属品)	2
防振接手100	2
防虫網(SUS) 100	2
防虫網(SUS) 50	2
排水目皿50	1
ホッパー200×100	4
給水栓(衛生器具表参照)	3
電極棒5P	2
電極棒3P	2

器具名	個数
BV100	1
GV50	3
CV100(ナイロンライニング・衝撃吸収式)	1
防振継手50	3
防振継手100	1
F. J100×800L(給水ポンプ2次側)	1



空調設備 機器一覧表

※機器はグリーン購入法適合品とする。
 ※冷暖房能力は定格能力を示す。その他の数値は参考値とする。
 ※室内機及び室外機には系統記号を表示のこと。

機器記号	名称	仕様・型式・付属品	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電源・電動機出力			定格消費電力		台数	設置場所	
					φ-V	圧縮機 (kW)	室内ファン (kW)	室外ファン (kW)	冷房時 (kW)			暖房時 (kW)
ACP-1-1	ビル用マルチエアコン室外機	20HP相当 冷媒：R410A 付属品：防振架台、他付属品一式 概略寸法：2480×765×1660H 概略質量：478kg	定格56.0	定格63.0	3-200	6.93×2		(0.27×2)×2	17.0	15.4	1	屋上
ACP-1-1-1	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(1.0HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：24.5kg	定格2.8	定格3.2	1-200		0.053		0.033	0.027	6	1階 多目的教室1
											1	1階 男子更衣室
											1	1階 女子更衣室
ACP-1-1-2	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(1.25HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：24.5kg	定格3.6	定格4.0	1-200		0.053		0.033	0.027	6	1階 多目的教室2
ACP-1-1-3	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(1.25HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：24.5kg	定格3.6	定格4.0	1-200		0.053		0.033	0.027	2	1階 会議室
ACP-1-2	ビル用マルチエアコン室外機	14HP相当 冷媒：R410A 付属品：防振架台、他付属品一式 概略寸法：1750×765×1660H 概略質量：301kg	定格40.0	定格45.0	3-200	9.16×1		0.37×2	10.3	10.6	1	屋上
ACP-1-2-1	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(1.25HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：24.5kg	定格3.6	定格4.0	1-200		0.053		0.033	0.027	8	1階 放課後児童クラブ
ACP-1-2-2	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット2方向型(1.0HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：1070×700×360H 概略質量：29.0kg	定格2.8	定格3.2	1-200		0.046		0.039	0.035	1	1階 静養室
ACP-2	ビル用マルチエアコン室外機	28HP相当 冷媒：R410A 付属品：防振架台、他付属品一式 概略寸法：3010×765×1660H 概略質量：546kg	定格77.5	定格90.0	3-200	(10.6×1) +(8.39×1)		(0.67×2) +(0.27×2)	22.0	22.8	1	屋上
ACP-2-1	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(1.6HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：24.5kg	定格4.5	定格5.0	1-200		0.053		0.047	0.034	2	2階 通級教室
ACP-2-2	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(1.25HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：24.5kg	定格3.6	定格4.0	1-200		0.053		0.033	0.027	6	2階 図書室
ACP-2-3	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(1.25HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：24.5kg	定格3.6	定格4.0	1-200		0.053		0.033	0.027	6	2階 PC教室
ACP-2-4	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(2.5HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：25.5kg	定格7.1	定格8.0	1-200		0.053		0.072	0.068	3	2階 理科室
ACP-3	ビル用マルチエアコン室外機	26HP相当 冷媒：R410A 付属品：防振架台、他付属品一式 概略寸法：3010×765×1660H 概略質量：546kg	定格73.0	定格82.5	3-200	(10.3×1) +(7.02×1)		(0.67×2) +(0.27×2)	21.0	20.1	1	屋上
ACP-3-1	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(1.0HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：24.5kg	定格2.8	定格3.2	1-200		0.053		0.033	0.027	6	3階 音楽室
ACP-3-2	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(1.25HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：24.5kg	定格3.6	定格4.0	1-200		0.053		0.033	0.027	6	3階 家庭科室
ACP-3-3	ビル用マルチエアコン室内機	天井カセット4方向型(2.5HP相当) 付属品：ワイヤードリモコン、ロングライフフィルター、防振吊金具、他付属品一式 概略寸法：950×950×296H 概略質量：25.5kg	定格7.1	定格8.0	1-200		0.053		0.072	0.068	3	3階 図工室
	集中リモコン	アイコン表示、カラータッチ式、64グループ/512台接続可能 スケジュール機能、温度制御、台数制御、他付属品一式			1-100						1	1階 職員室

参考品番 (ダイキン)
RXUP560FC
FXYP28NB BRC1G4×1
FXYP36NB BRC1G4×1
FXYP36NB BRC1G4×1
FXYP36NB BRC1G4×1
RXUP400FC
FXYP36NB BRC1G4×1
FXYP28EB BRC1G4×1
RXUP775FC
FXYP45NB BRC1G4×1
FXYP36NB BRC1G4×1
FXYP36NB BRC1G4×1
FXYP71NB BRC1G4×1
RXUP730FC
FXYP28NB BRC1G4×1
FXYP36NB BRC1G4×1
FXYP71NB BRC1G4×1

冷媒管リスト

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.4φ	12.7φ
Ⓑ	9.5φ	15.9φ
Ⓒ	9.5φ	19.1φ
Ⓓ	9.5φ	22.2φ
Ⓔ	9.5φ	25.4φ
Ⓕ	12.7φ	25.4φ
Ⓖ	12.7φ	28.6φ
Ⓗ	15.9φ	28.6φ
Ⓘ	19.1φ	31.8φ

※渡り配線は冷媒配管共巻とする。
 ※仕様はEM-CEES 1.25²-2Cとする。

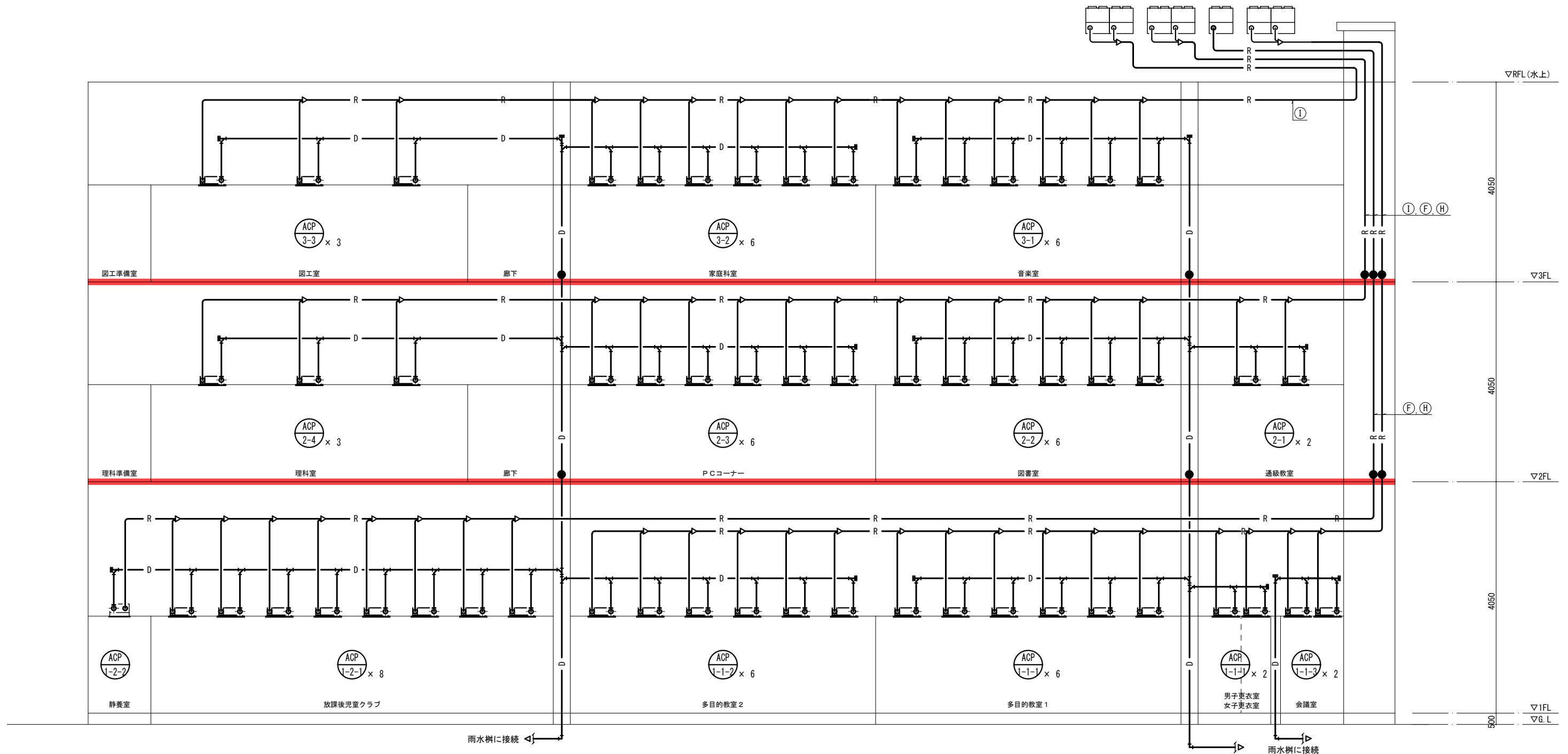
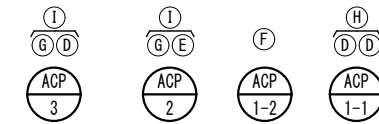
凡例

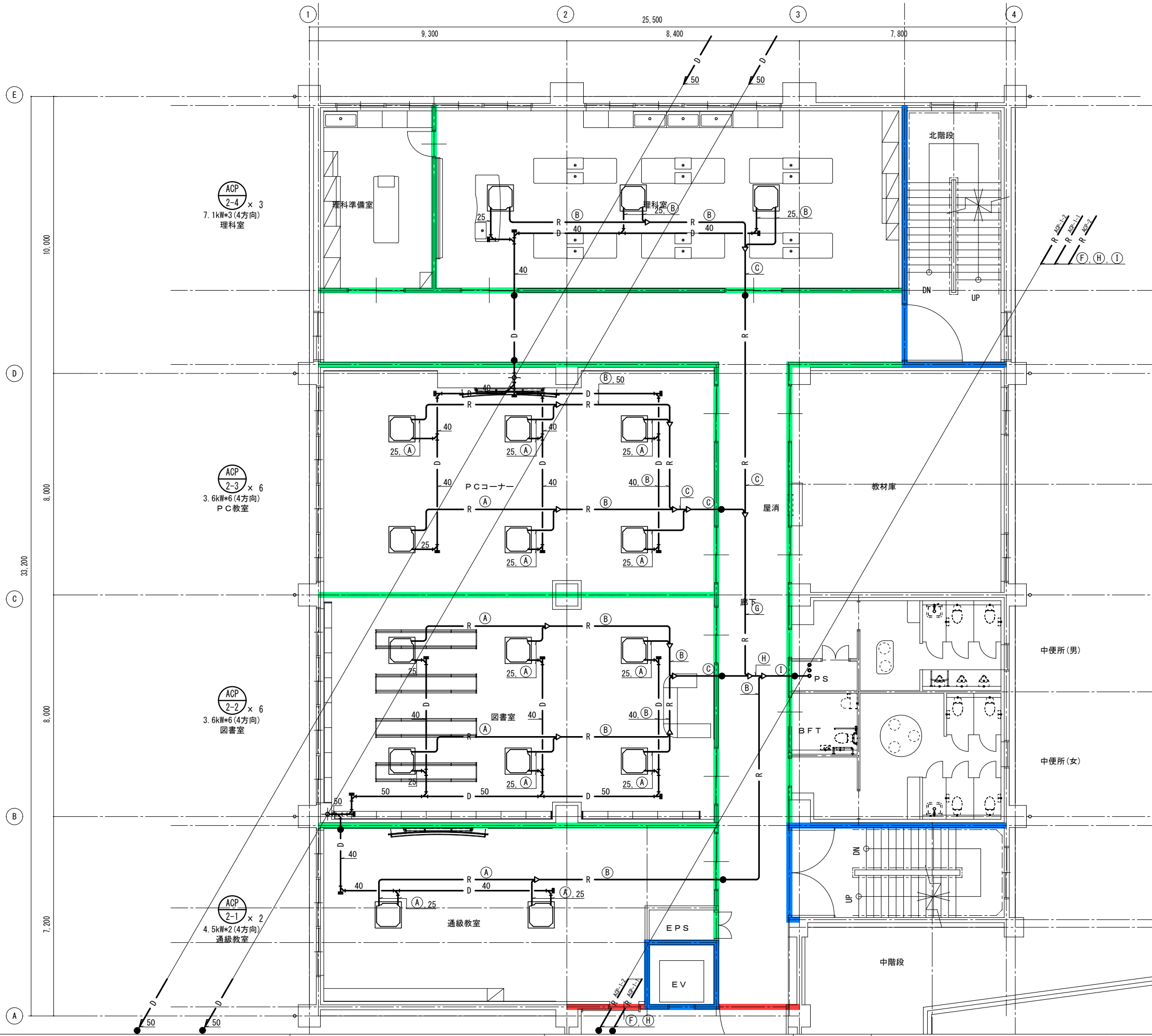
記号	名称	仕様	備考
— R —	冷媒管	冷媒用断熱被覆銅管	JIS H 3300
— D —	ドレン管	硬質塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741
— D ● —	ドレン管	排水・通気用耐火二層管 (40φ以上)	認定番号: PS060WL-0534 (壁) PS060FL-0454 (床) JIS K 6741
— R ● —	国土交通省大臣認定による区画貫通処理	認定番号: PS060WL-0774 (RC壁・中空壁) PS060FL-0776 (床)	

区画凡例

記号	名称
	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
	面積+壁区画を示す。
	異種用途区画を示す。
	防火上主要な間仕切を示す。
	防煙壁を示す。

※ ● 区画貫通箇所を示す。
 (横引管の区画貫通処理箇所は平面図参照)





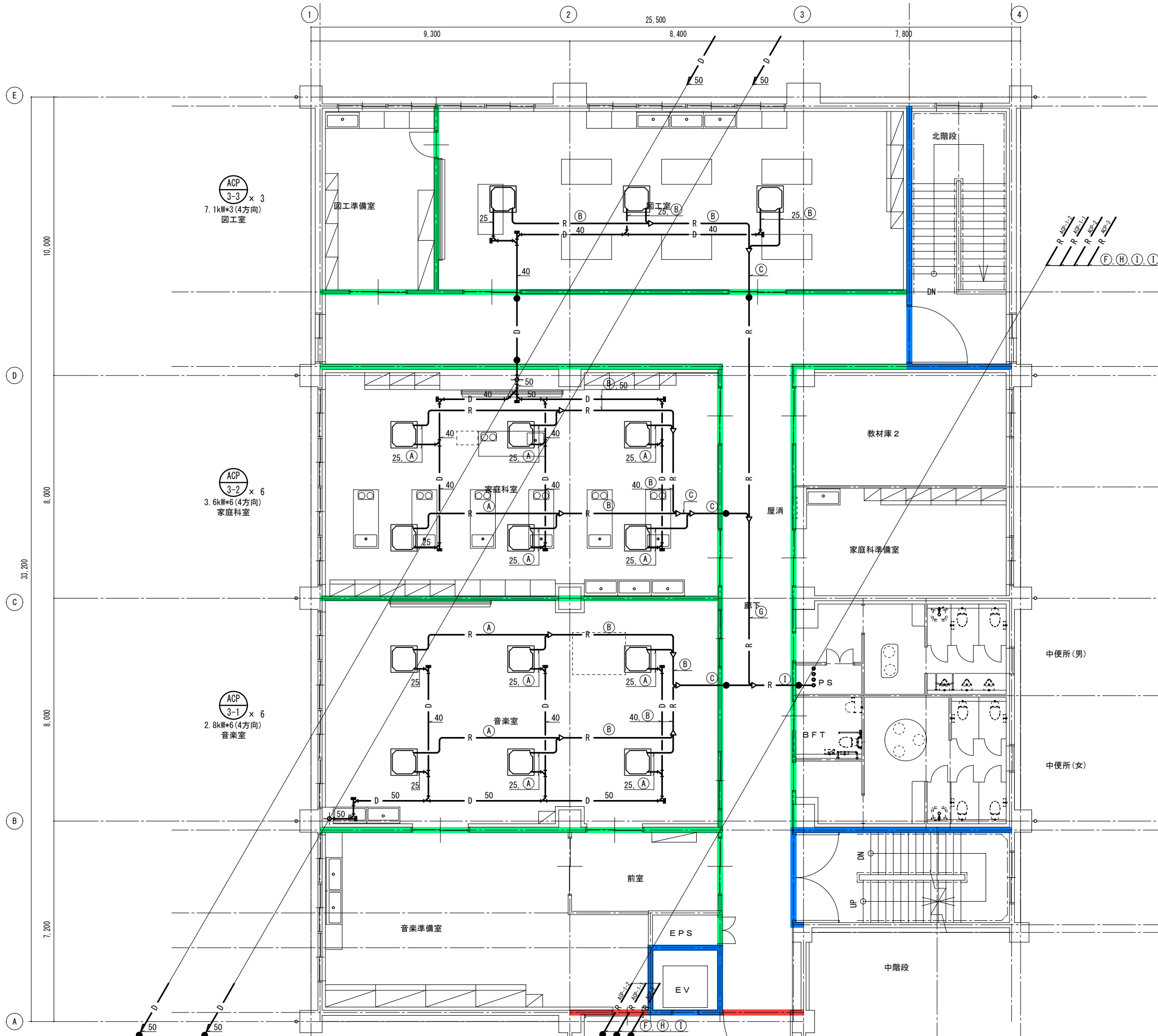
区画凡例

記号	名称
■	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
■	面積+整穴区画を示す。
■	異種用途区画を示す。
■	防火上主要な間仕切を示す。
■	防煙壁を示す。

冷媒管リスト

記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	12.7φ
(B)	9.5φ	15.9φ
(C)	9.5φ	19.1φ
(D)	9.5φ	22.2φ
(E)	9.5φ	25.4φ
(F)	12.7φ	25.4φ
(G)	12.7φ	28.6φ
(H)	15.9φ	28.6φ
(I)	19.1φ	31.8φ

※渡り配線は冷媒配管共巻とする。
 ※仕様はEM-CEES 1.25⁵-2Cとする。
 ※●●●● 区画貫通箇所を示す。



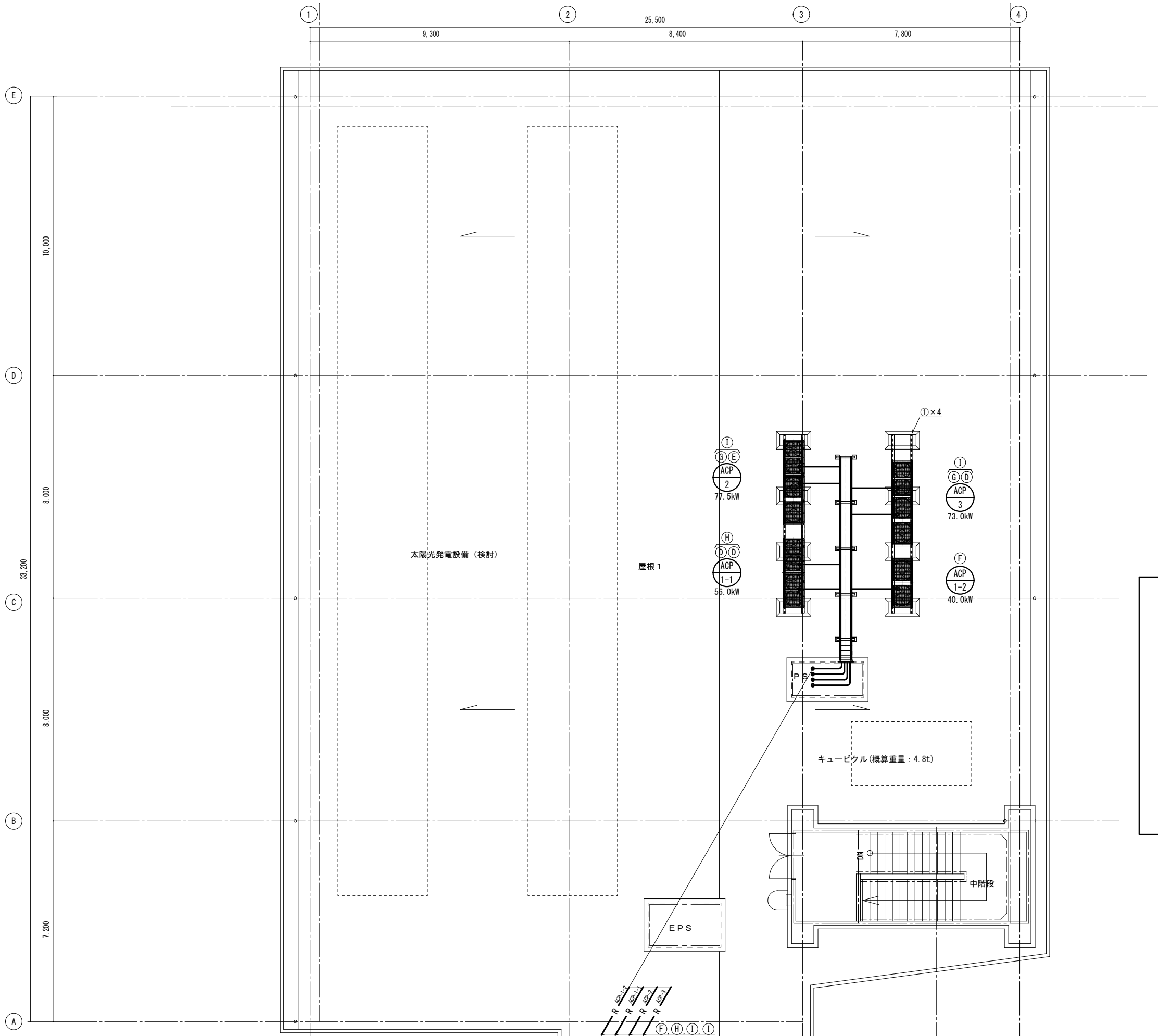
区画凡例

記号	名称
■	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
■	面積+整穴区画を示す。
■	異種用途区画を示す。
■	防火上主要な間仕切を示す。
■	防煙壁を示す。

冷媒管リスト

記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	12.7φ
(B)	9.5φ	15.9φ
(C)	9.5φ	19.1φ
(D)	9.5φ	22.2φ
(E)	9.5φ	25.4φ
(F)	12.7φ	25.4φ
(G)	12.7φ	28.6φ
(H)	15.9φ	28.6φ
(I)	19.1φ	31.8φ

※渡り配線は冷媒配管共巻とする。
 ※仕様はEM-CEES 1.25⁵-2Cとする。
 ※●●●● 区画貫通箇所を示す。



区画凡例

記号	名称
[Red]	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
[Blue]	面積+壁区画を示す。
[Purple]	異種用途区画を示す。
[Green]	防火上主要な間仕切を示す。
[Orange]	防煙壁を示す。

冷媒管リスト

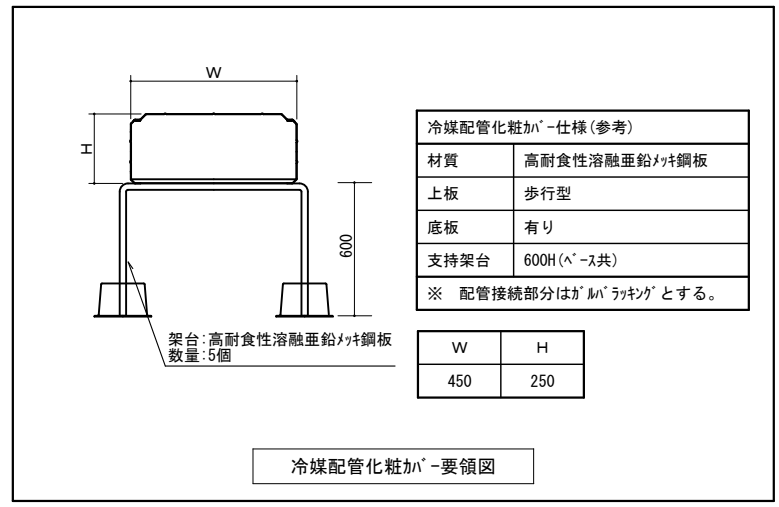
記号	液管	ガス管
(A)	6.4φ	12.7φ
(B)	9.5φ	15.9φ
(C)	9.5φ	19.1φ
(D)	9.5φ	22.2φ
(E)	9.5φ	25.4φ
(F)	12.7φ	25.4φ
(G)	12.7φ	28.6φ
(H)	15.9φ	28.6φ
(I)	19.1φ	31.8φ

※渡り配線は冷媒配管共巻とする。
 ※仕様はEM-CEES 1.25"-2Cとする。
 ※図中 ● は冷媒区画貫通処理部を示す。

鋼材サイズ表 (機械設備工事)

記号	部材	L (mm)	数量
①	H形鋼 H-100×100×6×8	6400	4

架台は溶融亜鉛めっき仕上げ (HDZ35)
 Uバンド、ボルト、ナットはSUS製



冷媒配管化粧カバー要領図

換気設備 機器一覧表

記号	名称	仕様・型式・付属品	風量 (m3/h)	静圧 (Pa)	電源		消費電力 (W)	操作	騒音 (dB)	台数	設置場所・備考
					φ-V	出力(kW)					
FE-1	天井扇	低騒音形 オール金属タイプ 接続径: 100φ 概略寸法: 282×282×208H 概略重量: 2.8kg	130	40	1-100		27.0	手動	39.0	1	1階 湯沸室
FE-2	天井扇	低騒音形 接続径: 150φ 概略寸法: 390×390×261H 概略重量: 4.8kg	160	40	1-100		29.5	手動	29.5	1 1 1	1階 BFT 2階 BFT 3階 BFT
FE-3	天井扇	DCファンレスモーター 24H換気機能付 接続径: 200φ 24H換気用リモコン(強弱切替付) 概略寸法: 475×475×288H 概略重量: 7.9kg	強 700 弱 40	80 10	1-100		77.0 9.0	手動	51.0 31.0	1 1	1階 男性更衣室 1階 女性更衣室
FE-4	天井扇	低騒音形 接続径: 150φ 概略寸法: 475×475×300H 概略重量: 9.3kg	500	80	1-100		90.0	手動	43.5	1 3 2 2 1 2 1 1	1階 倉庫 2階 理科準備室・理科室×2 2階 教材庫(2台) 3階 図工準備室 3階 音楽準備室(2台) 3階 家庭科準備室 3階 教材庫2
FE-5	天井扇	DCファンレスモーター 24H換気機能付 接続径: 100φ 24H換気用リモコン(強弱切替付) 概略寸法: 286×286×210H 概略重量: 1.6kg	強 100 弱 20	20 10	1-100		3.3 1.8	手動	27.5 20.5	1	1階 静養室
FE-6	天井扇	低騒音形 接続径: 100φ 概略寸法: 286×286×210H 概略重量: 1.6kg	100	20	1-100		15.5	手動	28.5	1	1階 倉庫
FE-7	ストリートシロココファン	天井埋込タイプ(消音形) 接続径: 100φ 概略寸法: 360×273×225H 概略重量: 7.0kg	110	40	1-100		23.5	手動	33.0	1	1階 便所
FE-8	ストリートシロココファン	天井埋込タイプ(消音形) 接続径: 200φ 概略寸法: 638×423×305H 概略重量: 16.0kg	700	100	1-100		125.0	手動	51.0	1 1 1	1階 中便所(男) 2階 中便所(男) 3階 中便所(男)
FE-9	ストリートシロココファン	天井埋込タイプ(消音形) 接続径: 200φ 概略寸法: 638×443×305H 概略重量: 18.5kg	900	100	1-100		202.0	手動	55.0	1 1 1	1階 中便所(女) 2階 中便所(女) 3階 中便所(女)
FE-10	ストリートシロココファン	天井埋込タイプ(消音形) 接続径: 250φ 概略寸法: 768×455×350H 概略重量: 24.0kg	1600	100	1-100		484.0	手動	63.0	1	3階 家庭科室
FS-1	ストリートシロココファン	天井埋込・給気タイプ(消音形) 接続径: 250φ 概略寸法: 744×467×350H 概略重量: 23.5kg	1600	100	1-100		515.0	手動	56.0	1	3階 家庭科室
	深型フード	ステンレス製 防鳥網付 指定色塗装 150φ								10	
	深型フード	ステンレス製 防鳥網付 指定色塗装 250φ								21	

備考・参考型番
VD-13ZY13
VD-18ZB13
VD-25ZVX6-C
VD-23ZXP13-C
VD-13ZVC6
VD-13ZC13
BFS-15SUG2
BFS-65SUG2
BFS-90SUG2
BFS-150SUG2
BFS-150SSUA2

全熱交換ユニット 機器一覧表

記号	名称	仕様・型式・付属品	風量 (m3/h)	静圧 (Pa)	温度交換効率 (%)	エンタルピー交換効率(%)		電源		消費電力 (W)	操作	騒音 (dB)	台数	設置場所
						暖房時	冷房時	φ-V	出力(kW)					
HEU-1	全熱交換ユニット	天井埋込形 接続径: 200φ 24時間換気機能付マイコンタイプ(強弱切替式) コントロールスイッチ×1 概略寸法: 984×892×404H 質量: 42.0kg	650	150	71.5	72	63	1-100		355.0	手動	38.0	4	1階 放課後児童クラブ(4台)
			55	10	79.0	79	70			49.0		22.0	2	1階 多目的教室1(2台)
													2	1階 多目的教室2(2台)
													1	1階 会議室
													2	2階 理科室(2台)
													2	2階 PC教室(2台)
													2	2階 図書室(2台)
													2	3階 図工室(2台)
													2	3階 家庭科室(2台)
													2	3階 音楽室(2台)
HEU-2	全熱交換ユニット	天井埋込形 接続径: 150φ 24時間換気機能付マイコンタイプ(強弱切替式) コントロールスイッチ×1 概略寸法: 780×735×290H 質量: 23.0kg	260	100	70.0	73	63	1-100		100.0	手動	29.0	1	2階 通級教室
			80	10	79.5	81	71			17.0		19.0		
	深型フード	ステンレス製 防鳥網付 指定色塗装 200φ											1	
	深型フード	ステンレス製 防鳥網付 指定色塗装 250φ											21	

備考・参考型番
LGH-N65RXW2
LGH-N25RXW2

階	室名	床面積 A (m ²)	平均天井高 (m)	室容積 q (m ³)	普通換気量計算表							
					対象	計算式				必要換気量	決定機器風量	
						人員	N=	消費電力	回数	V (m ³ /h)	<	(m ³ /h)
1	放課後児童クラブ	166.91	2.74	457.3	○	人員	N=	65.0	V=30N (m ³)	1,950.0	<	2,600.0
	湯沸室	5.00	2.74	13.7	○	消費電力	Q=	4.0	V=30Q	120.0	<	130.0
	便所	1.80	2.74	4.9	○	回数	回/h=	10.0	V=回/h×q (m ³)	49.3	<	110.0
	静養室	13.80	2.74	37.8	○	人員	N=	2.0	V=30N (m ³)	60.0	<	100.0
	倉庫	6.48	2.74	17.8	○	回数	回/h=	5.0	V=回/h×q (m ³)	88.8	<	100.0
	多目的教室1	119.67	2.74	327.9	○	人員	N=	36.0	V=30N (m ³)	1,080.0	<	1,300.0
	多目的教室2	119.67	2.74	327.9	○	人員	N=	36.0	V=30N (m ³)	1,080.0	<	1,300.0
	男性更衣室	38.45	2.74	105.4	○	人員	N=	22.0	V=30N (m ³)	660.0	<	700.0
	女性更衣室	48.02	2.74	131.6	○	人員	N=	22.0	V=30N (m ³)	660.0	<	700.0
	中便所(男)	24.55	2.54	62.4	○	回数	回/h=	10.0	V=回/h×q (m ³)	623.6	<	700.0
	中便所(女)	31.94	2.54	81.1	○	回数	回/h=	10.0	V=回/h×q (m ³)	811.3	<	900.0
	BFT	5.75	2.54	14.6	○	回数	回/h=	10.0	V=回/h×q (m ³)	146.1	<	160.0
	倉庫	31.34	2.74	85.9	○	回数	回/h=	5.0	V=回/h×q (m ³)	429.4	<	500.0
	会議室	33.80	2.74	92.6	○	人員	N=	17.0	V=30N (m ³)	510.0	<	650.0
	2	理科室	113.48	2.74	310.9	○	人員	N=	36.0	V=30N (m ³)	1,080.0	<
理科準備室		27.87	2.74	76.4	○	回数	回/h=	5.0	V=回/h×q (m ³)	381.8	<	500.0
PC教室		119.67	2.74	327.9	○	人員	N=	36.0	V=30N (m ³)	1,080.0	<	1,300.0
図書室		119.67	2.74	327.9	○	人員	N=	36.0	V=30N (m ³)	1,080.0	<	1,300.0
通級教室		84.47	2.74	231.4	○	人員	N=	8.0	V=30N (m ³)	240.0	<	260.0
中便所(男)		24.55	2.54	62.4	○	回数	回/h=	10.0	V=回/h×q (m ³)	623.6	<	700.0
中便所(女)		31.94	2.54	81.1	○	回数	回/h=	10.0	V=回/h×q (m ³)	811.3	<	900.0
BFT		5.75	2.54	14.6	○	回数	回/h=	10.0	V=回/h×q (m ³)	146.1	<	160.0
教材庫		65.14	2.74	178.5	○	回数	回/h=	5.0	V=回/h×q (m ³)	892.4	<	1,000.0
図工室		113.48	2.74	310.9	○	人員	N=	36.0	V=30N (m ³)	1,080.0	<	1,300.0
図工準備室		27.87	2.74	76.4	○	回数	回/h=	5.0	V=回/h×q (m ³)	381.8	<	500.0
家庭科室		119.67	2.74	327.9	○	人員	N=	36.0	V=30N (m ³)	1,080.0	<	1,300.0
家庭科室		119.67	2.74	327.9	○	ガス消費量	Q=	40.3	V=40×0.93Q	1,497.3	<	1,600.0
音楽室		119.67	2.74	327.9	○	人員	N=	36.0	V=30N (m ³)	1,080.0	<	1,300.0
音楽準備室		69.47	2.74	190.3	○	回数	回/h=	5.0	V=回/h×q (m ³)	951.7	<	1,000.0
中便所(男)	24.55	2.54	62.4	○	回数	回/h=	10.0	V=回/h×q (m ³)	623.6	<	700.0	
中便所(女)	31.94	2.54	81.1	○	回数	回/h=	10.0	V=回/h×q (m ³)	811.3	<	900.0	
BFT	5.75	2.54	14.6	○	回数	回/h=	10.0	V=回/h×q (m ³)	146.1	<	160.0	
家庭科準備室	31.34	2.74	85.9	○	回数	回/h=	5.0	V=回/h×q (m ³)	429.4	<	500.0	
教材庫2	33.80	2.74	92.6	○	回数	回/h=	5.0	V=回/h×q (m ³)	463.1	<	500.0	

対象	シックハウス換気量計算表							換気扇	備考
	換気回数 (回/h)	必要換気量		決定機器風量 (m ³ /h)	換気扇	備考			
		(m ³ /h)	合計						
○	0.3	137.2	137.2	<	220.0	HEU-1	24H (4台)		
						FE-1			
						FE-7			
○	0.3	11.3	11.3	<	20.0	FE-5	24H		
						FE-6			
○	0.3	98.4	98.4	<	110.0	HEU-1	24H (2台)		
○	0.3	98.4	98.4	<	110.0	HEU-1	24H (2台)		
○	0.3	31.6	31.6	<	40.0	FE-3	24H		
○	0.3	39.5	39.5	<	40.0	FE-3	24H		
						FE-8			
						FE-9			
						FE-2			
						FE-4			
○	0.3	27.8	27.8	<	55.0	HEU-1	24H		
○	0.3	93.3	93.3	<	110.0	HEU-1	24H (2台)		
						FE-4			
○	0.3	98.4	98.4	<	110.0	HEU-1	24H (2台)		
○	0.3	98.4	98.4	<	110.0	HEU-1	24H (2台)		
○	0.3	69.4	69.4	<	80.0	HEU-2	24H		
						FE-8			
						FE-9			
						FE-2			
						FE-4	(2台)		
○	0.3	93.3	93.3	<	110.0	HEU-1	24H (2台)		
						FE-4			
○	0.3	98.4	98.4	<	110.0	HEU-1	24H (2台)		
						FE-10			
○	0.3	98.4	98.4	<	110.0	HEU-1	24H (2台)		
						FE-4	(2台)		
						FE-8			
						FE-9			
						FE-2			
						FE-4			
						FE-4			

凡例

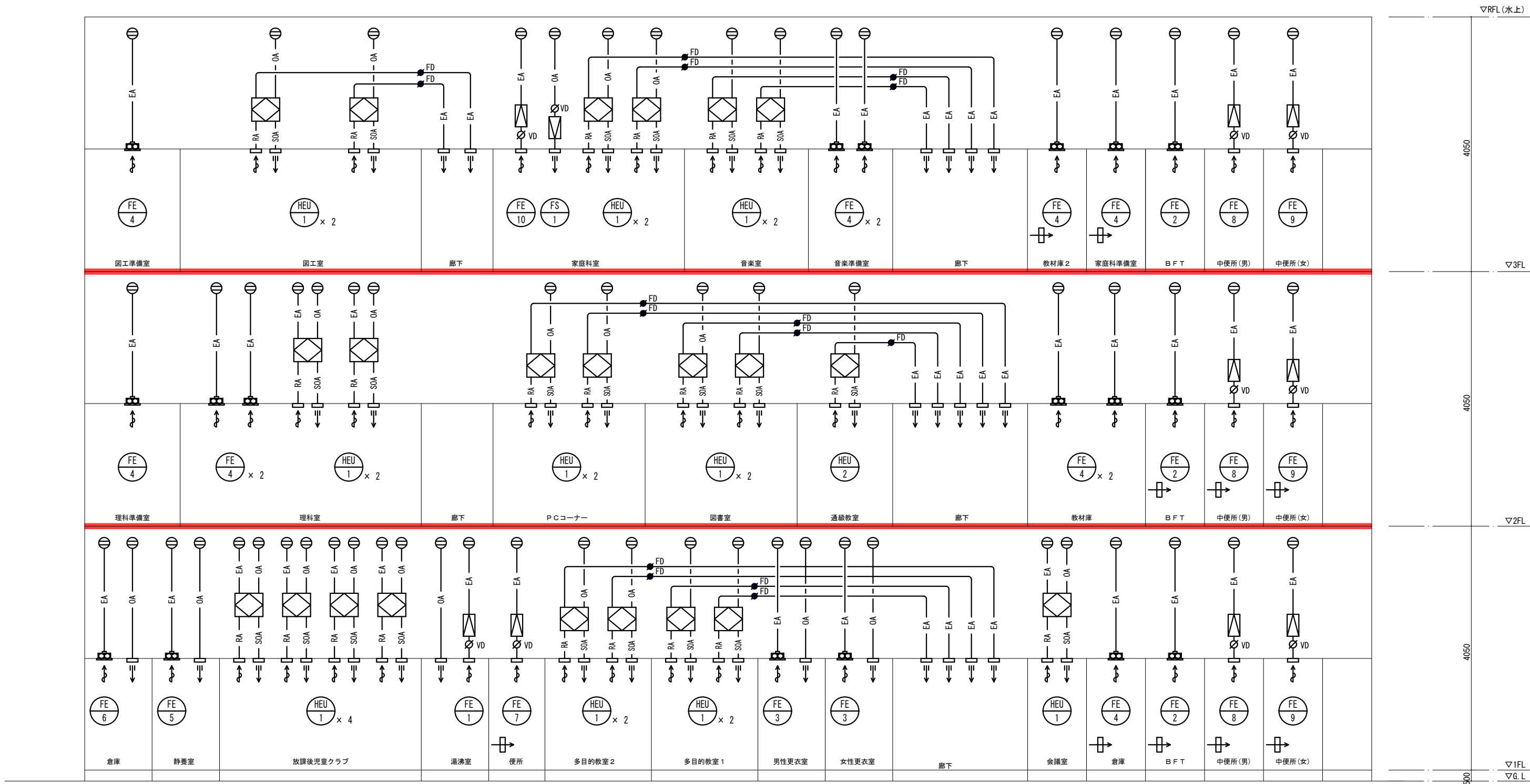
記号	名称	備考
— OA —	外気 ^外	
— EA —	排気 ^外	
— SOA —	給気 ^外	
— RA —	換気 ^外	
○VD	風量調整 ^{バルブ}	
●FD	防火 ^{バルブ}	

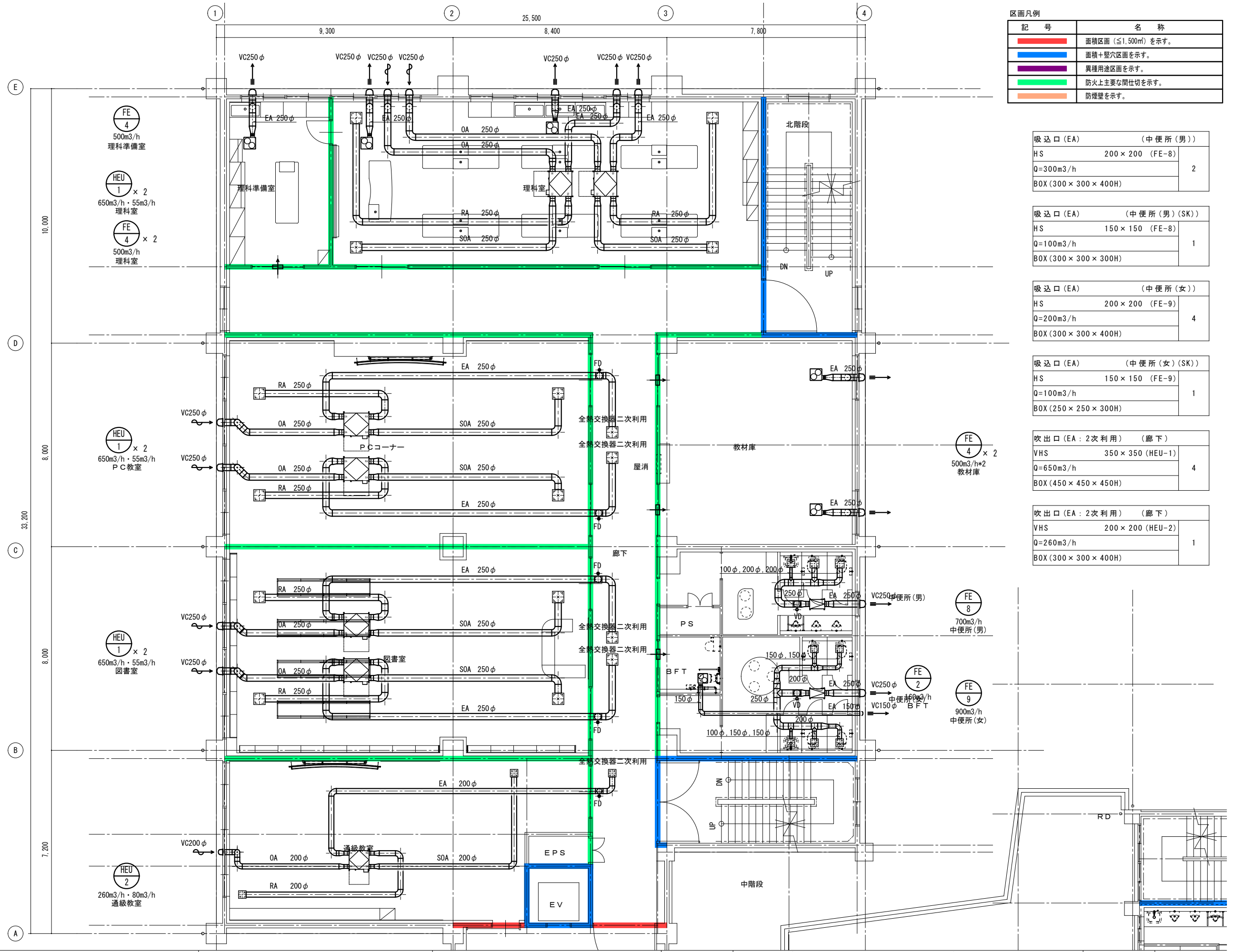
増築棟

記号	外気量	排気量	バランス
1階	7690m ³ /h	7350m ³ /h	+340m ³ /h
2階	4160m ³ /h	4560m ³ /h	-400m ³ /h
3階	5500m ³ /h	5860m ³ /h	-360m ³ /h
増築棟全体	17350m ³ /h	17770m ³ /h	-420m ³ /h

区画凡例

記号	名称
■	面積区画 (≦1,500m ²) を示す。
■	面積+堅穴区画を示す。
■	異種用途区画を示す。
■	防火上主要な間仕切を示す。
■	防煙壁を示す。





区画凡例

記号	名称
■	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
■	面積+整穴区画を示す。
■	異種用途区画を示す。
■	防火上主要な間仕切を示す。
■	防煙壁を示す。

吹出口 (SOA) (理科室)

VHS	350 × 350 (HEU-1)	2
Q	=650m ³ /h	
BOX	(450 × 450 × 450H, GW25t外貼)	

吸込口 (RA) (理科室)

HS	350 × 350 (HEU-1)	2
Q	=650m ³ /h	
BOX	(450 × 450 × 450H)	

吹出口 (SOA) (PCコーナー)

VHS	350 × 350 (HEU-1)	2
Q	=650m ³ /h	
BOX	(450 × 450 × 450H, GW25t外貼)	

吸込口 (RA) (PCコーナー)

HS	350 × 350 (HEU-1)	2
Q	=650m ³ /h	
BOX	(450 × 450 × 450H)	

吹出口 (SOA) (図書室)

VHS	350 × 350 (HEU-1)	2
Q	=650m ³ /h	
BOX	(450 × 450 × 450H, GW25t外貼)	

吸込口 (RA) (図書室)

HS	350 × 350 (HEU-1)	2
Q	=650m ³ /h	
BOX	(450 × 450 × 450H)	

吹出口 (SOA) (通級教室)

VHS	200 × 200 (HEU-2)	1
Q	=260m ³ /h	
BOX	(30 × 300 × 400H, GW25t外貼)	

吸込口 (RA) (通級教室)

HS	200 × 200 (HEU-2)	1
Q	=260m ³ /h	
BOX	(300 × 300 × 400H)	

吸込口 (EA) (中便所 (男))

HS	200 × 200 (FE-8)	2
Q	=300m ³ /h	
BOX	(300 × 300 × 400H)	

吸込口 (EA) (中便所 (男) (SK))

HS	150 × 150 (FE-8)	1
Q	=100m ³ /h	
BOX	(300 × 300 × 300H)	

吸込口 (EA) (中便所 (女))

HS	200 × 200 (FE-9)	4
Q	=200m ³ /h	
BOX	(300 × 300 × 400H)	

吸込口 (EA) (中便所 (女) (SK))

HS	150 × 150 (FE-9)	1
Q	=100m ³ /h	
BOX	(250 × 250 × 300H)	

吹出口 (EA: 2次利用) (廊下)

VHS	350 × 350 (HEU-1)	4
Q	=650m ³ /h	
BOX	(450 × 450 × 450H)	

吹出口 (EA: 2次利用) (廊下)

VHS	200 × 200 (HEU-2)	1
Q	=260m ³ /h	
BOX	(300 × 300 × 400H)	

吹出口 (SOA) (図工室)	
VHS	350 × 350 (HEU-1)
Q=650m ³ /h	2
BOX (450 × 450 × 450H, GW25t外貼)	

吸込口 (RA) (図工室)	
HS	350 × 350 (HEU-1)
Q=650m ³ /h	2
BOX (450 × 450 × 450H)	

吹出口 (SOA) (家庭科室)	
VHS	350 × 350 (HEU-1)
Q=650m ³ /h	2
BOX (450 × 450 × 450H, GW25t外貼)	

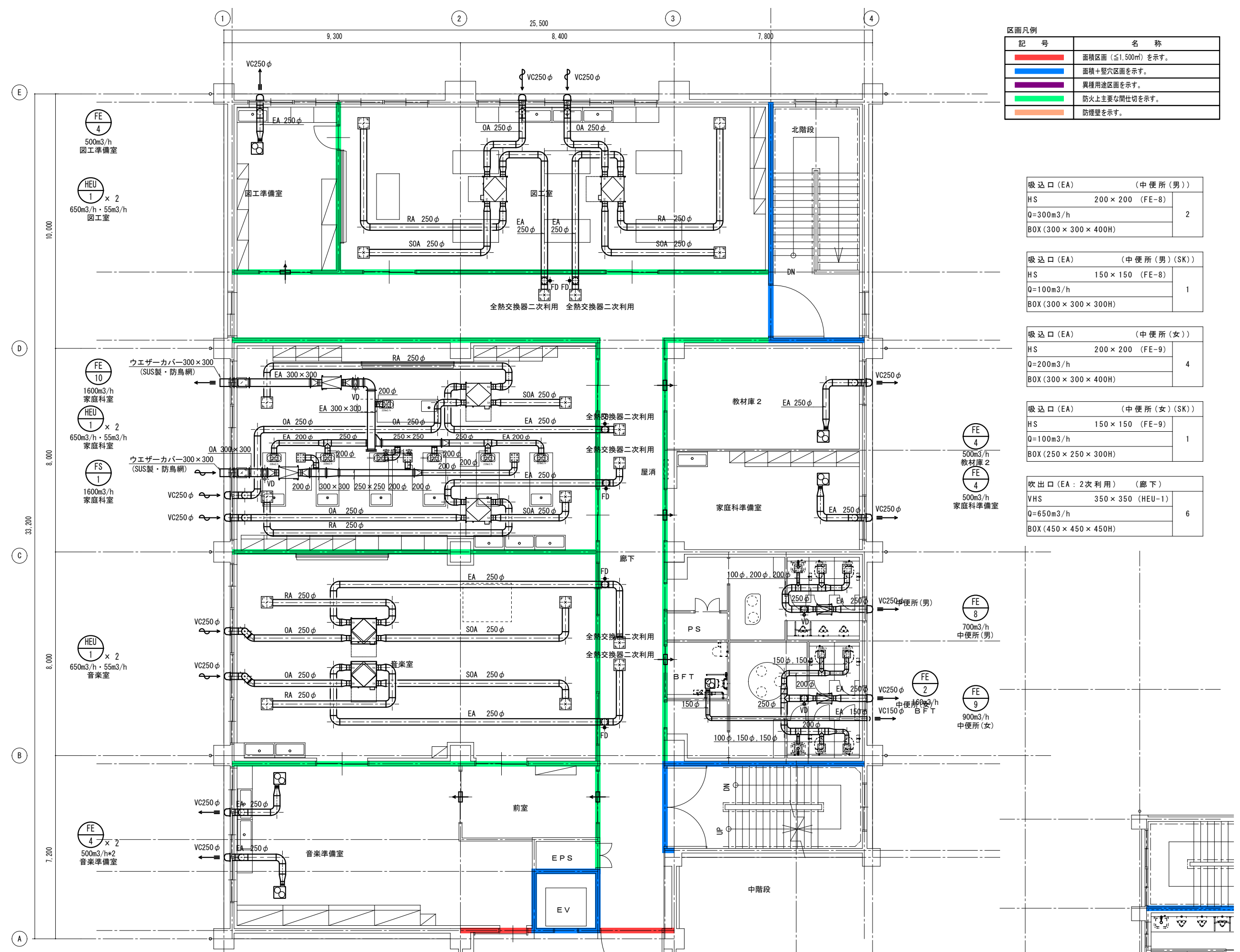
吸込口 (RA) (家庭科室)	
HS	350 × 350 (HEU-1)
Q=650m ³ /h	2
BOX (450 × 450 × 450H)	

吹出口 (OA) (家庭科室)	
VHS (F付)	300 × 300 (FS-1)
Q=533m ³ /h	3
BOX (400 × 400 × 400H, GW25t外貼)	

吸込口 (EA) (家庭科室)	
HS	200 × 200 (FE-10)
Q=229m ³ /h	7
BOX (300 × 300 × 400H)	

吹出口 (SOA) (音楽室)	
VHS	350 × 350 (HEU-1)
Q=650m ³ /h	2
BOX (450 × 450 × 450H, GW25t外貼)	

吸込口 (RA) (音楽室)	
HS	350 × 350 (HEU-1)
Q=650m ³ /h	2
BOX (450 × 450 × 450H)	



区画凡例	
記号	名称
■	面積区画 (≦1,500m ²) を示す。
■	面積+整穴区画を示す。
■	異種用途区画を示す。
■	防火上主要な間仕切りを示す。
■	防煙壁を示す。

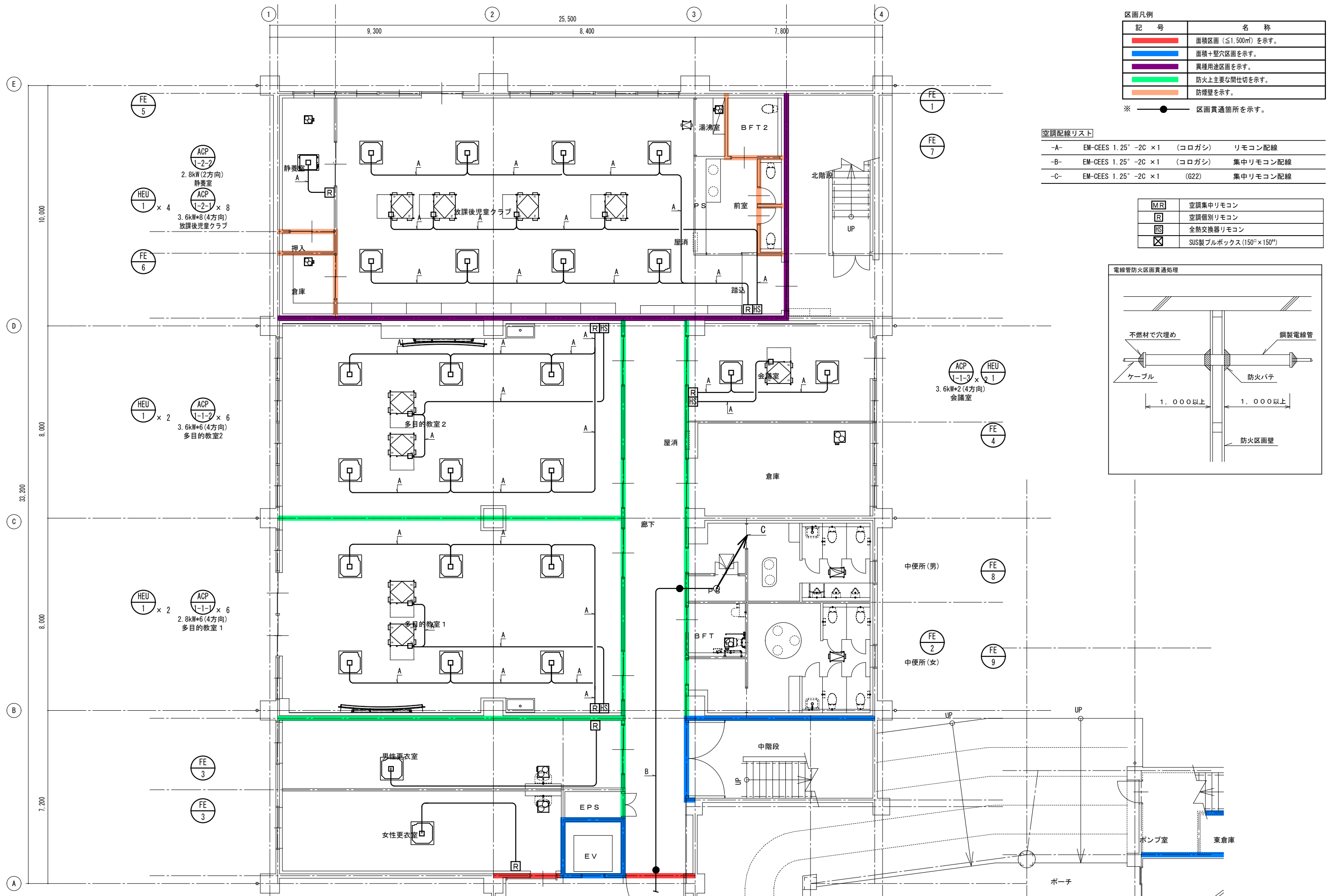
吸込口 (EA) (中便所(男))	
HS	200 × 200 (FE-8)
Q=300m ³ /h	2
BOX (300 × 300 × 400H)	

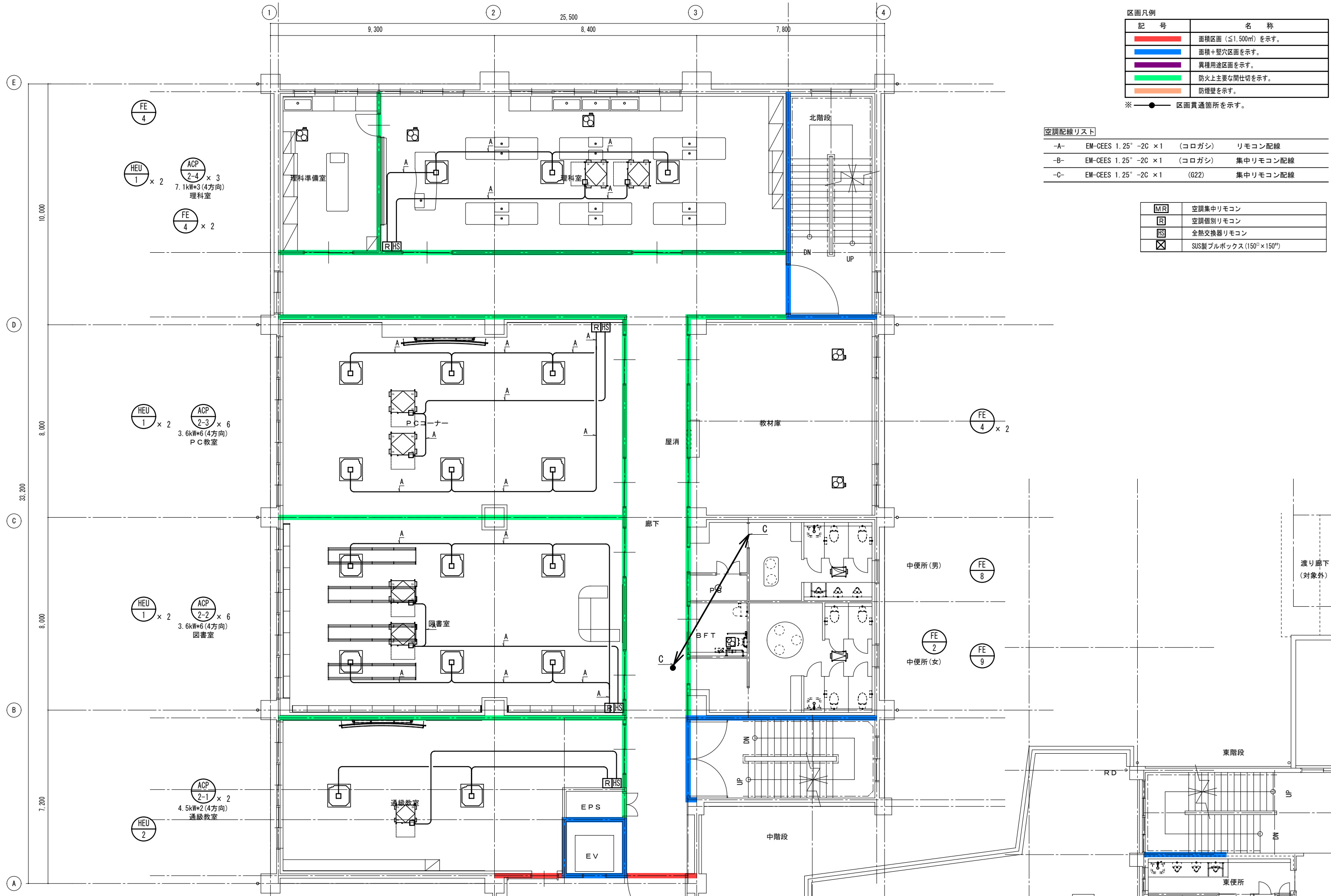
吸込口 (EA) (中便所(男)(SK))	
HS	150 × 150 (FE-8)
Q=100m ³ /h	1
BOX (300 × 300 × 300H)	

吸込口 (EA) (中便所(女))	
HS	200 × 200 (FE-9)
Q=200m ³ /h	4
BOX (300 × 300 × 400H)	

吸込口 (EA) (中便所(女)(SK))	
HS	150 × 150 (FE-9)
Q=100m ³ /h	1
BOX (250 × 250 × 300H)	

吹出口 (EA : 2次利用) (廊下)	
VHS	350 × 350 (HEU-1)
Q=650m ³ /h	6
BOX (450 × 450 × 450H)	





区画凡例

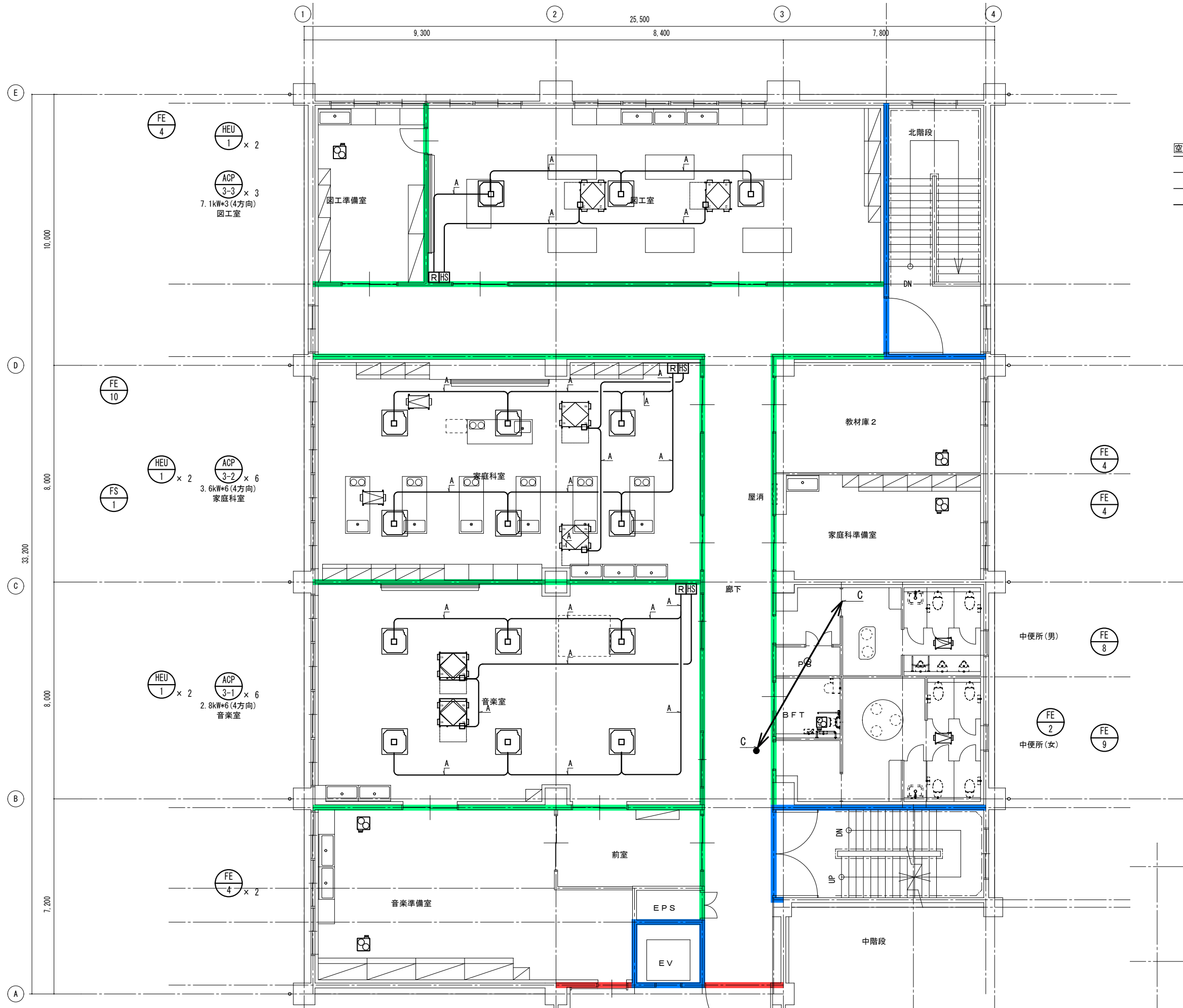
記号	名称
	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
	面積+整区画を示す。
	異種用途区画を示す。
	防火上主要な間仕切を示す。
	防煙壁を示す。

※ ●—● 区画貫通箇所を示す。

空調配線リスト

-A-	EM-CEES 1.25° -2C ×1 (コロガン)	リモコン配線
-B-	EM-CEES 1.25° -2C ×1 (コロガン)	集中リモコン配線
-C-	EM-CEES 1.25° -2C ×1 (G22)	集中リモコン配線

MR	空調集中リモコン
R	空調個別リモコン
HS	全熱交換器リモコン
☒	SUS製プルボックス (150 ^φ × 150 ^φ)



区画凡例

記号	名称
■	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
■	面積+整穴区画を示す。
■	異種用途区画を示す。
■	防火上主要な間仕切を示す。
■	防煙壁を示す。

※ ●—● 区画貫通箇所を示す。

空調配線リスト

-A-	EM-CEES 1.25° -2C ×1 (コロガン)	リモコン配線
-B-	EM-CEES 1.25° -2C ×1 (コロガン)	集中リモコン配線
-C-	EM-CEES 1.25° -2C ×1 (G22)	集中リモコン配線

MR	空調集中リモコン
R	空調個別リモコン
HS	全熱交換器リモコン
⊠	SUS製プルボックス (150 ² × 150 ²)

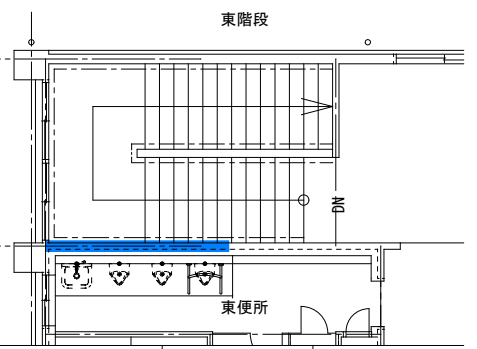
FE 4
HEU 1 × 2
ACP 3-3 × 3
7.1kW×3(4方向)
図工室

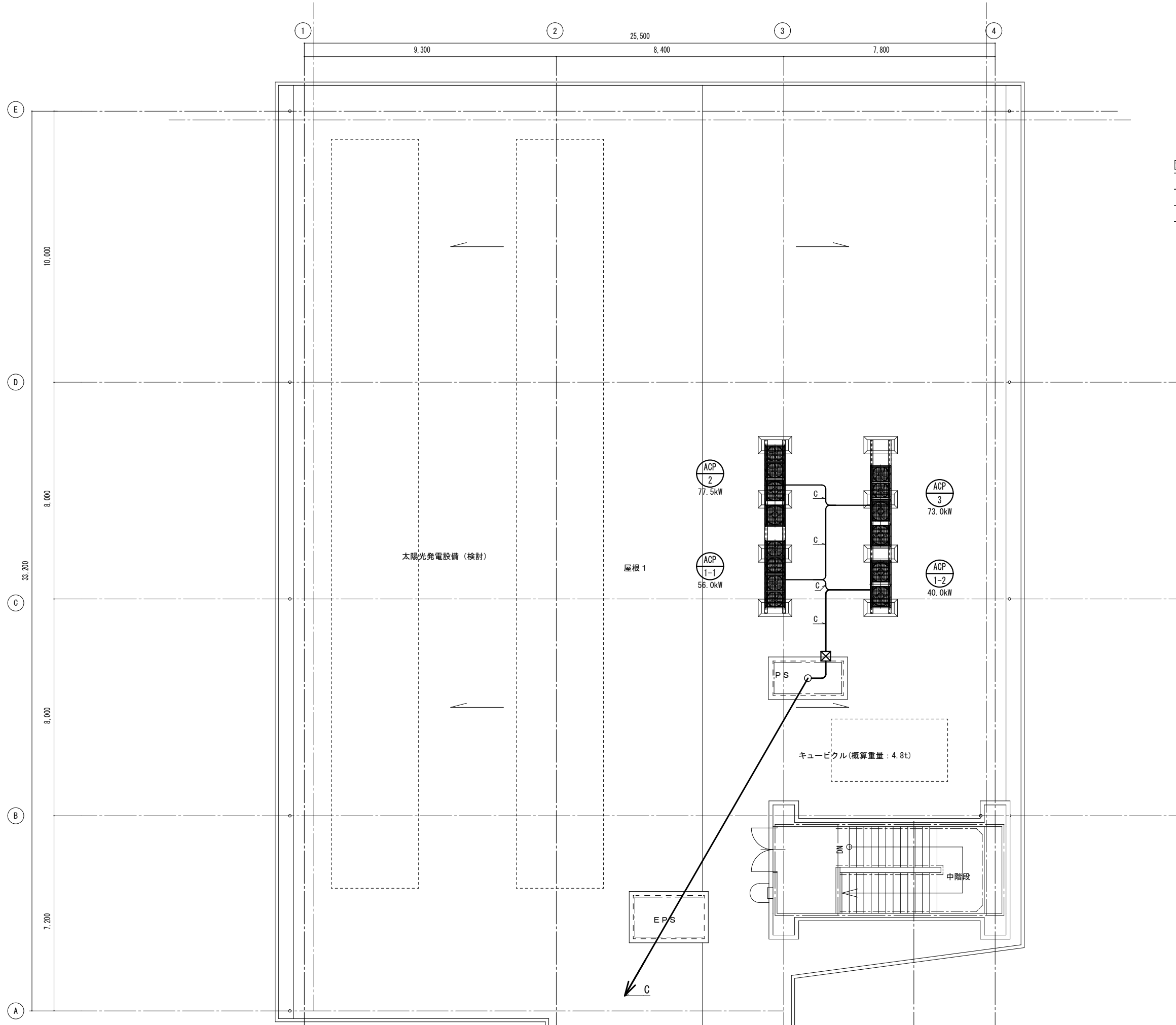
FE 10
HEU 1 × 2
ACP 3-2 × 6
FS 1
3.6kW×6(4方向)
家庭科室

HEU 1 × 2
ACP 3-1 × 6
2.8kW×6(4方向)
音楽室

FE 4 × 2

FE 4
FE 4
FE 8
FE 2
FE 9





区画凡例

記号	名称
	面積区画 (≦1,500㎡) を示す。
	面積+壁区画を示す。
	異種用途区画を示す。
	防火上主要な間仕切を示す。
	防煙壁を示す。

空調配線リスト

-A-	EM-CEES 1.25° -2C ×1 (コロガン)	リモコン配線
-B-	EM-CEES 1.25° -2C ×1 (コロガン)	集中リモコン配線
-C-	EM-CEES 1.25° -2C ×1 (G22)	集中リモコン配線

MR	空調集中リモコン
R	空調個別リモコン
HS	全熱交換器リモコン
☒	SUS製プルボックス (150 ^φ ×150 ^φ)

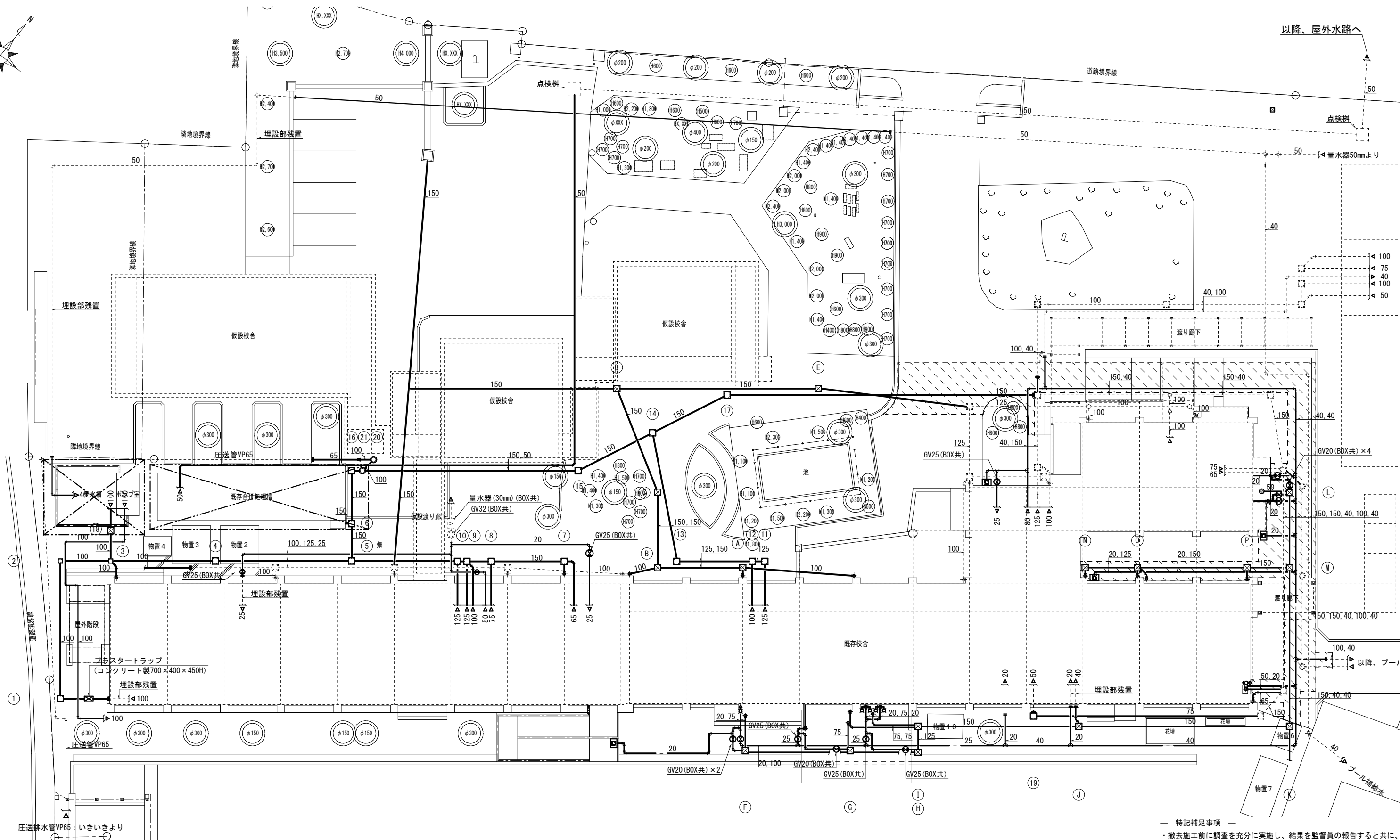
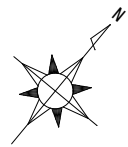
撤去樹リスト<汚水・雑排水>

樹番号	樹名称	樹寸法	樹深さ	蓋仕様	備考
1	ため樹 (RC-2)	450×450	-500	MHB-450	
2	ため樹 (RC-2)	450×450	-600	MHB-450	
3	ため樹	300φ	-700	レジコン蓋300φ	
4	ため樹 (RC-2)	450×450	-750	MHB-450	
5	インバート樹 (SC-3)	600×600	-850	MHB-600	
6	インバート樹 (SC-3)	600×600	-900	MHB-600	
7	インバート樹 (SC-3)	600×600	-400	MHB-600	
8	インバート樹 (SC-3)	600×600	-450	MHB-600	
9	インバート樹 (SC-3)	600×600	-470	MHB-600	
10	インバート樹 (SC-3)	600×600	-500	MHB-600	
11	インバート樹 (SC-3)	600×600	-500	MHB-600	
12	インバート樹 (SC-3)	600×600	-520	MHB-600	
13	インバート樹 (SC-3)	600×600	-550	MHB-600	
14	インバート樹 (SC-3)	600×600	-600	MHB-600	
15	インバート樹 (SC-3)	600×600	-650	MHB-600	
16	インバート樹 (SC-3)	600×600	-700	MHB-600	
17	インバート樹 (SC-3)	600×600	-550	MHB-600	
18	ため樹 (RC-2)	450×450	-500	コンクリート蓋	
19	ため樹 (RC-1)	350×350	-350	MHB-350	
20	小口径樹	DR φ100-150	-650	防護ハットφ200	
21	小口径樹	45Y φ150-150	-680	防護ハットφ200	

撤去樹リスト<雨水>

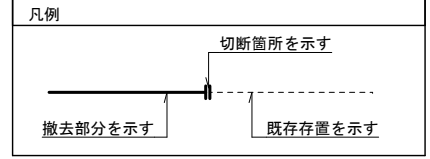
樹番号	樹名称	樹寸法	樹深さ	蓋仕様	備考
A	ため樹 (RC-1)	350×350	-350	コンクリート蓋	
B	ため樹 (RC-1)	600×600	-400	コンクリート蓋	
C	ため樹 (RC-1)	600×600	-450	コンクリート蓋	
D	ため樹 (RC-1)	600×600	-500	コンクリート蓋	
E	ため樹 (RC-1)	600×600	-450	コンクリート蓋	
F	ため樹 (RC-1)	350×350	-250	コンクリート蓋	
G	ため樹 (RC-1)	350×350	-280	コンクリート蓋	
H	ため樹 (RC-1)	350×350	-290	コンクリート蓋	
I	ため樹 (RC-1)	350×350	-295	コンクリート蓋	
J	ため樹 (RC-1)	350×350	-330	コンクリート蓋	
K	ため樹 (RC-1)	350×350	-390	コンクリート蓋	
L	ため樹 (RC-1)	350×350	-250	コンクリート蓋	
M	ため樹 (RC-1)	350×350	-250	コンクリート蓋	
N	ため樹 (RC-1)	350×350	-270	コンクリート蓋	
O	ため樹 (RC-1)	350×350	-315	コンクリート蓋	
P	ため樹 (RC-1)	350×350	-385	コンクリート蓋	



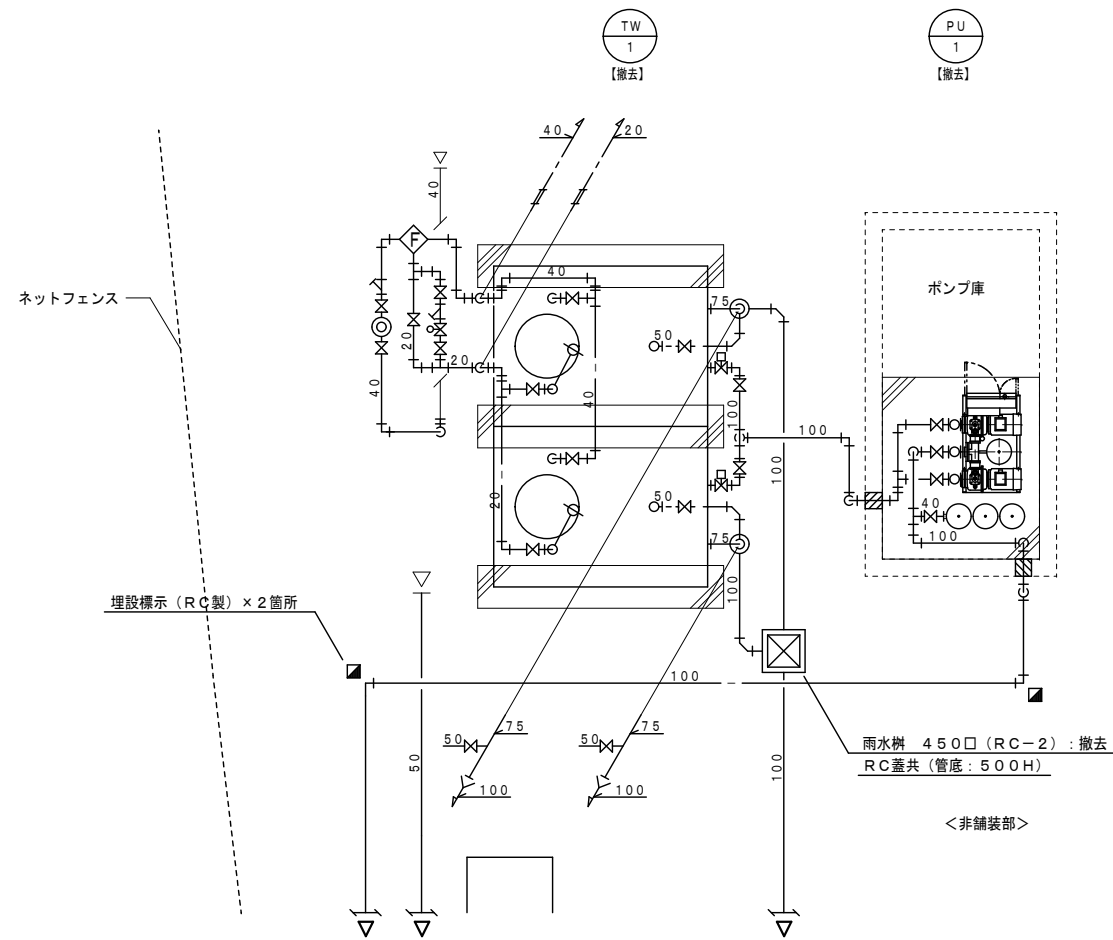


改修前 衛生設備 屋外配管図 S=1/200

- 【注記】**
- は存置部分を示す。
 - は撤去部分を示す。
 - == は既設配管切断を示す。
 - □ はアスファルト撤去、復旧範囲(建築工事)を示す。



— 特記補足事項 —
 ・撤去施工前に調査を充分に実施し、結果を監督員の報告すると共に、設計図書と異なる場合には監督員と協議後、施工に当たる事。



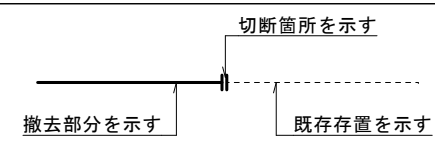
改修前 受水槽廻り詳細図

機器表 (撤去)				
記号	名称	仕様	台数	設置場所
TW-1	受水槽	型式: FRP製パネルタンク (複合板構造) 2槽式	1	屋外
		呼称: 12m ³ (有効水量: 7.80m ³), 耐震: 1.0G		
		参考寸法: (1.5+1.5) × 2.0 × 2.0H		
		付属品: 内・外タラップ × 2, マンホール蓋 600φ (旋錠式) × 2		
		通気口 × 2		
		電極座 × 4, 防波筒 (透明アクリル管) × 2, 配管取付口 (1式)		
		緊急遮断弁-100A × 2, 制御盤, 平架台 (溶融亜鉛メッキ仕上)		
コンクリート基礎 (撤去: 建築工事)				
PU-1	加圧給水ポンプユニット	型式: 推定末端圧一定, 交互並列運転, インバーター制御, 凍結防止ヒーター付	1	ポンプ室
		ステンレス製 (赤水対策品), 多段タービンポンプ		
		能力: 65A × 50A × 6φ0 / min × 35m		
		電源: 3φ-200V-3.7kw × 2		
		付属品: 制御盤 受水タンク2槽水位警報, 電磁弁用回路, 故障外部警報出力端子		
		空転防止, 緊急遮断弁対応, 水位切替, 表示ランプは、LEDとする。		
		アキュムレータ (20L) × 3 (接続部材共) ※フラッシュバルブに対応		
防振架台, 他付属品一式				
コンクリート基礎 (撤去: 建築工事)				
	パイプヒーター	サーモスタット式 寸法: 20m, 電源: 1φ-100V-300w 山清電気: AGR型 相当品	2	屋外
		※給水管屋外露出部 (受水槽1次側給水管) に取付		
	パイプヒーター	サーモスタット式 寸法: 6m, 電源: 1φ-100V-91w 山清電気: AGR型 相当品	1	屋外
		※給水管屋外露出部 (受水槽2次側給水管) に取付		
	パイプヒーター	サーモスタット式 寸法: 4m, 電源: 1φ-100V-60w 山清電気: AGR型 相当品	1	屋外
		※給水管屋外露出部 (受水槽1次側給水管) に取付		

注記

- は存置部分を示す。
- は撤去部分を示す。
- == は既設配管切断を示す。
- 機器、器具、露出配管の撤去は本工事で撤去を行う。

凡例



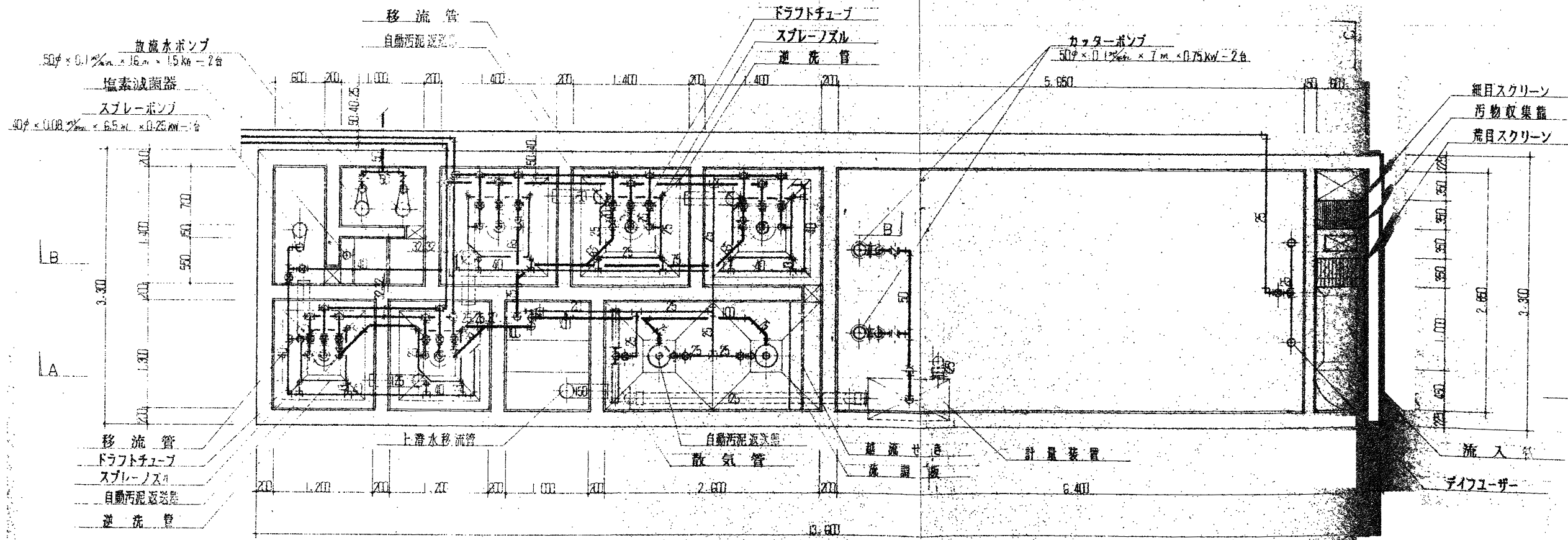
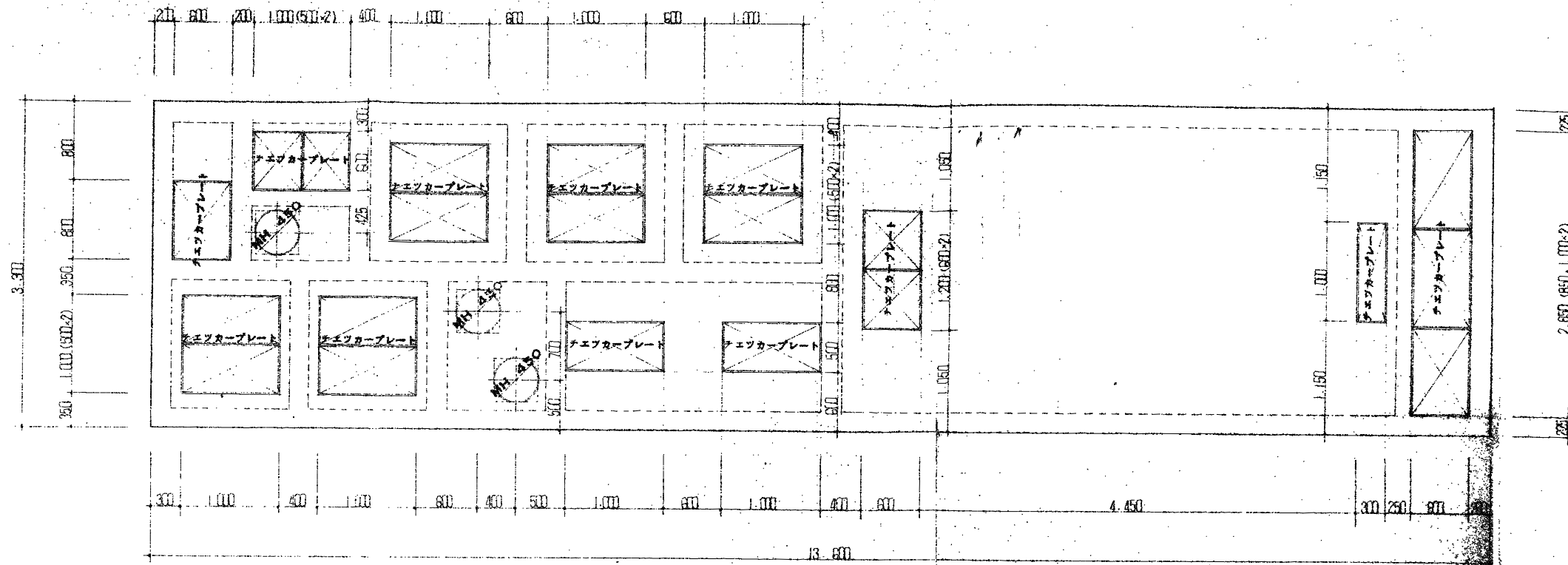
特記補足事項

撤去施工前に調査を充分に実施し、結果を監督員の報告すると共に、設計図書と異なる場合には監督員と協議後、施工に当たる事。

<TW-1> 受水槽廻り弁類 (撤去)		
(一次側給水用)		
定流量弁	-40A	~1
(流量は監督員の指示による)		
定水位弁	-40A	~1
GV	-40A	~4
GV	-20A	~5
Y型ストレーナ	-40A	~1
Y型ストレーナ	-20A	~1
電磁弁	-20A	~1
FJ (SUS製)	-40A	~2
FJ (SUS製)	-20A	~2
ボールタップ	-20A	~2
(二次側給水用)		
バタフライ弁	-100A	~2
FJ (合成ゴム製)	-100A	~2
緊急遮断弁	-100A	~2
(排水用)		
排水用GV	-50A	~2
防虫網	-75A	~2
間接排水口	-100A	~2

<PU-1> 加圧給水ポンプユニット廻り弁類 (撤去)		
GV	-40A	~1
GV	-50A	~2
バタフライ弁	-65A	~1
防振継手	-50A	~2
防振継手	-65A	~1

スラブ開口位置図



平面図

注記：本図は撤去図を示し、機器、配管類は全て撤去し、躯体は建築工事にて撤去とする。

